

証券コード 6768  
東京証券取引所 第一部上場

# 株式会社タムラ製作所

## 2022年3月期 第2四半期決算概要

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

2021年 11月 9日

  
Your One and Only Company

# 本日のご説明



代表取締役社長  
**浅田 昌弘**

1. 2022年3月期 第2四半期決算概要
2. 2022年3月期 通期業績予想
3. トピックス

【付録】参考資料

# 1. 2022年3月期 第2四半期決算概要

---

# 損益計算書（要約）

- ◆ コロナから回復基調の市場環境のもと、売上は伸長するも、原材料価格の高騰により営業利益は減益
- ◆ 営業外で為替差益などの上積みがあったが、繰延税金負債の増加により最終利益は赤字

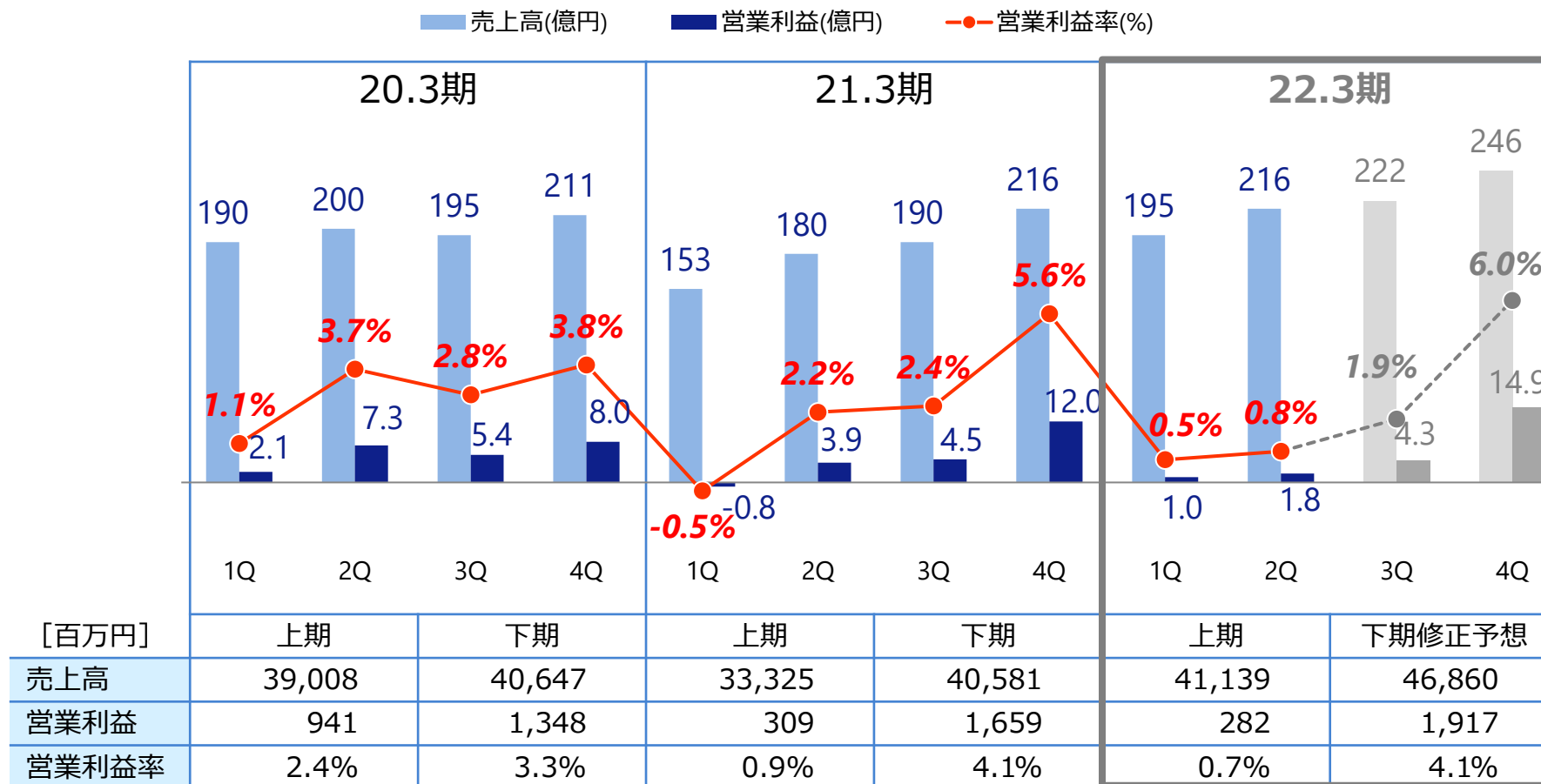
[百万円]

	21.3期2Q			22.3期2Q			22.3期2Q	
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	期初予想	構成比
<b>売上高</b>	33,325	100.0%	▲14.6%	<b>41,139</b>	100.0%	+23.5%	41,600	100.0%
売上原価	23,658	71.0%	▲14.9%	<b>30,851</b>	75.0%	+30.4%	-	-
販管費	9,356	28.1%	▲8.8%	<b>10,005</b>	24.3%	+6.9%	-	-
<b>営業利益</b>	309	0.9%	▲67.1%	<b>282</b>	0.7%	▲8.7%	800	1.9%
<b>経常利益</b>	458	1.4%	▲55.9%	<b>652</b>	1.6%	+42.5%	780	1.9%
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	27	0.1%	▲96.5%	<b>▲55</b>	-	-	210	0.5%
為替 (円/米ドル)	期中平均	106.83	▲1.51pt	109.01		+2.18pt	-	
	期末	105.80	▲2.12pt	111.92		+6.12pt	-	

注： 期初予想は2021年5月11日に公表

# 四半期別の売上高・損益

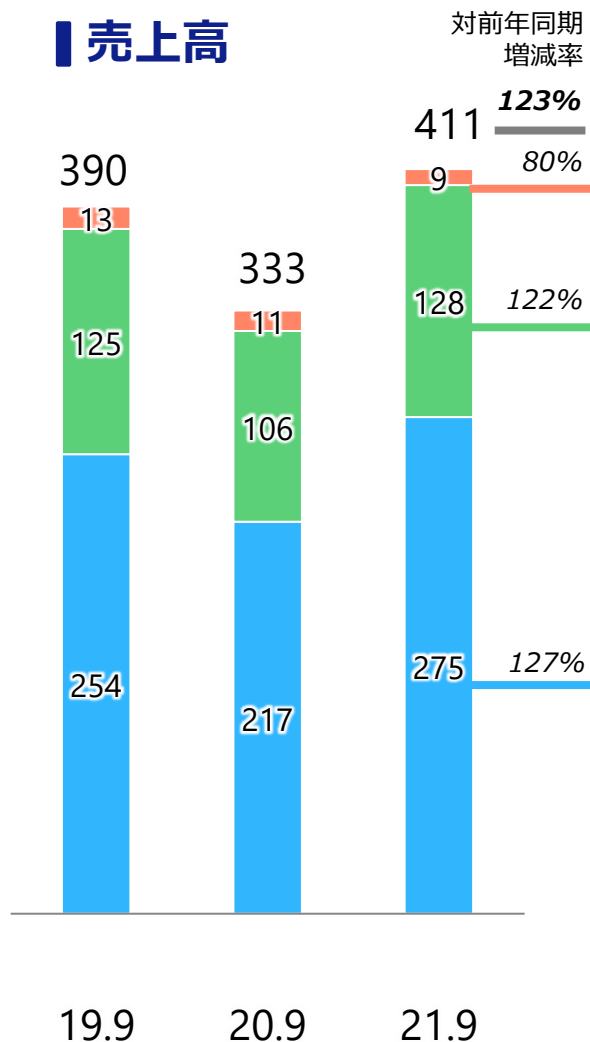
- ◆ コロナで停滞した前年同四半期との比較では大幅に増収。1Qは旧正月の影響で例年売上は少ない。
- ◆ 2Qで売上が伸長するも、原材料価格高騰の影響により営業利益は伸び悩む



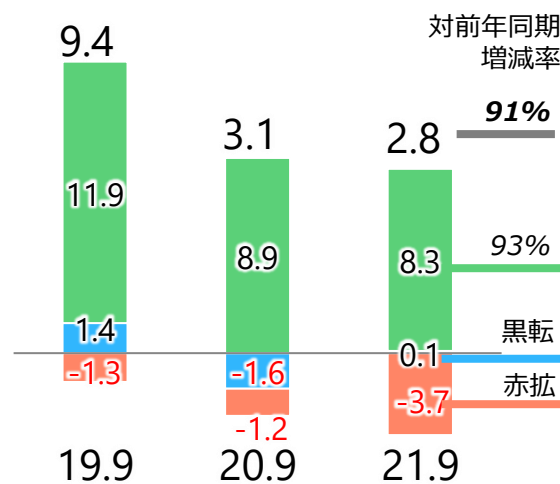
# 事業部門別の売上高・損益

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

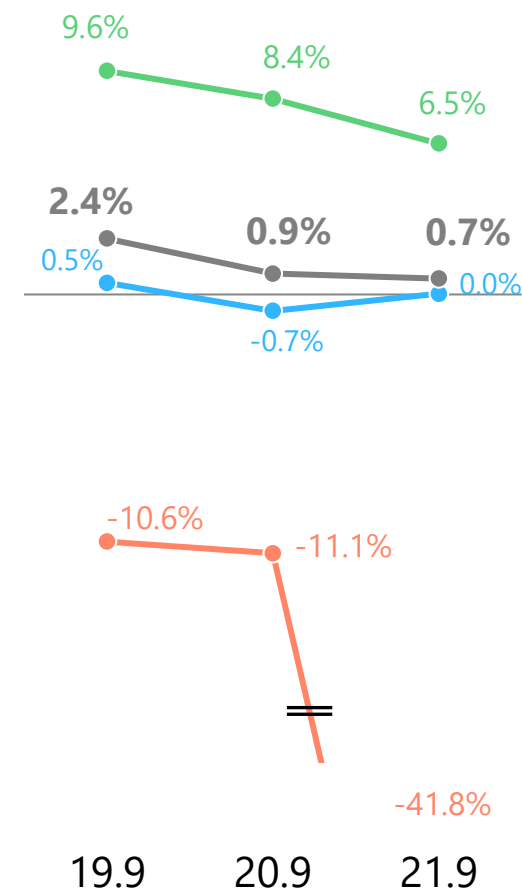
## 売上高



## 営業利益



## 営業利益率

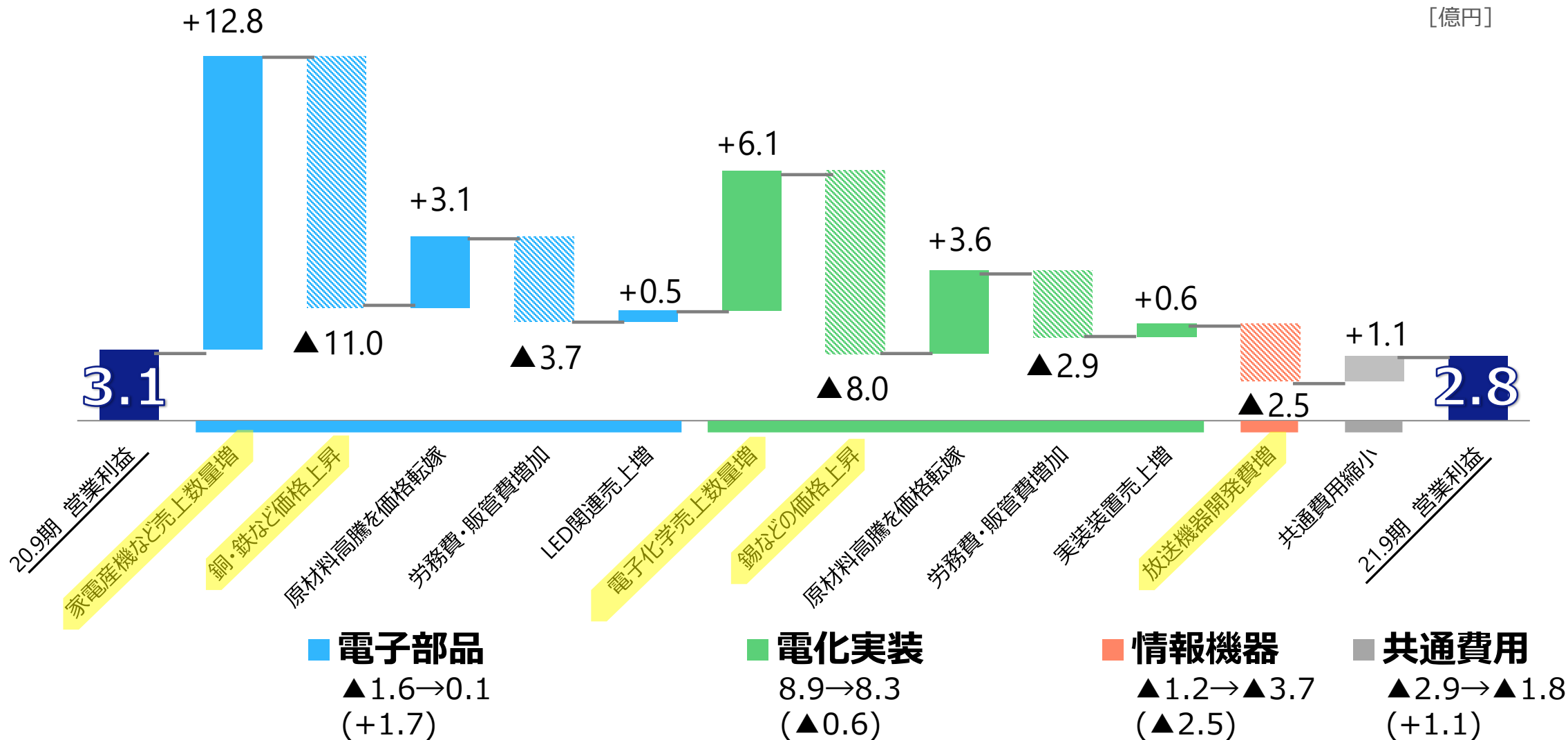


注：連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

# 営業利益 対前年同期増減

2020年上期 3.1億円 → 2021年上期 2.8億円 (▲ 0.3億円)

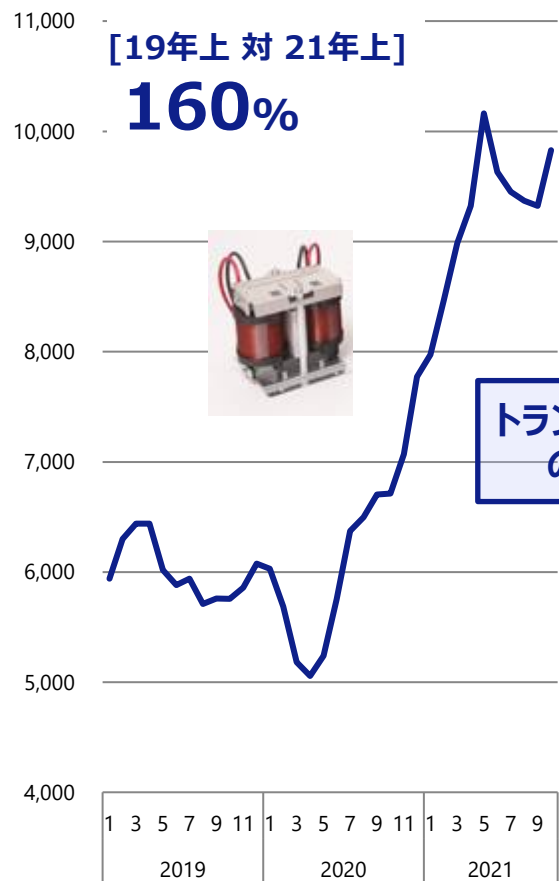
[億円]





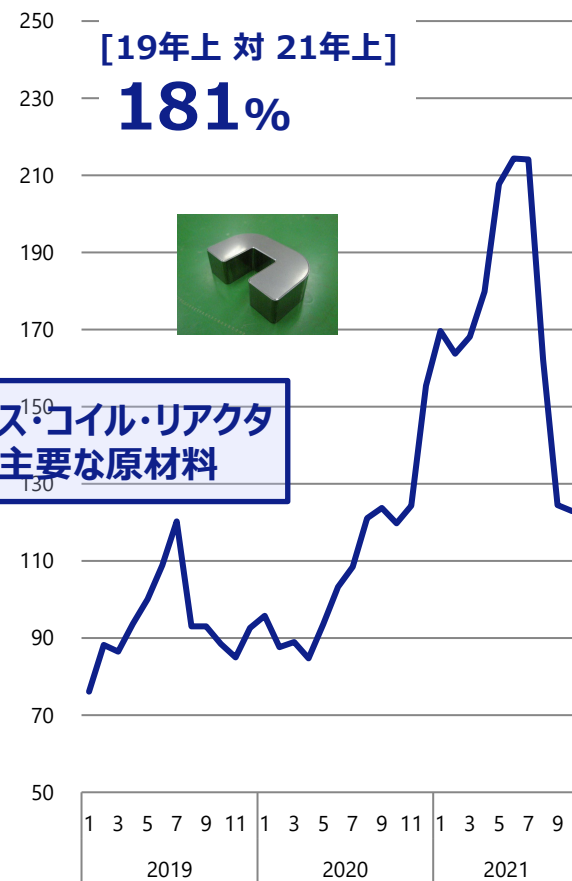
# 参考：原材料価格推移

## ■ 銅価格 (US\$/トン)



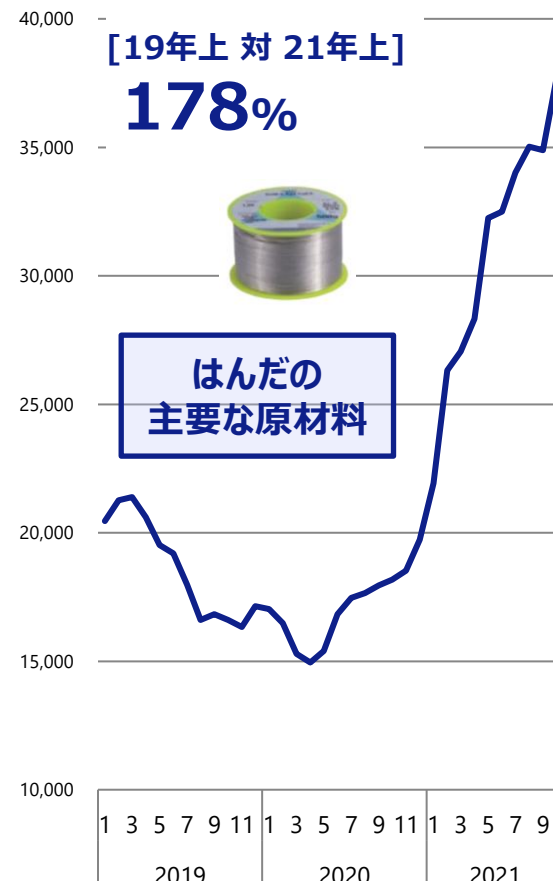
LME先物清算値

## ■ 鉄鉱石価格 (US\$/DMTU)



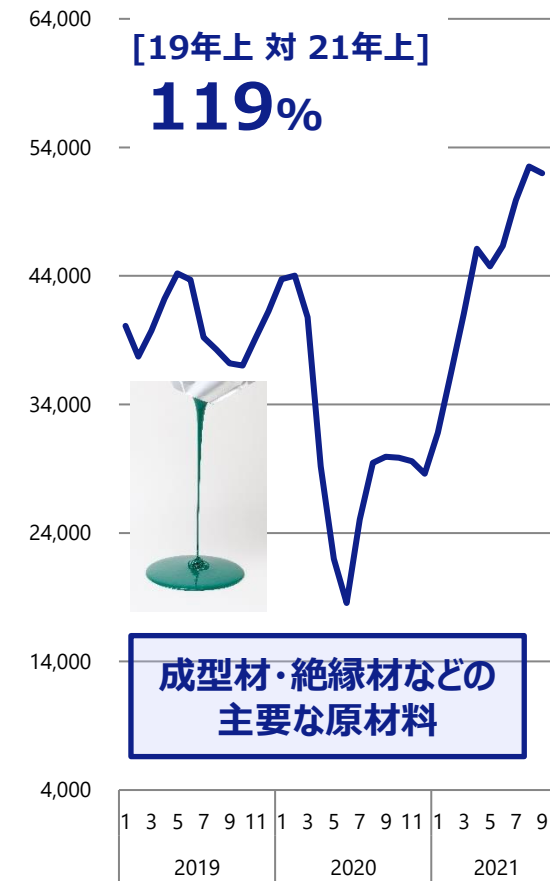
世界銀行

## ■ 錫価格 (US\$/トン)



LME先物清算値

## ■ ナフサ価格 (US\$/トン)

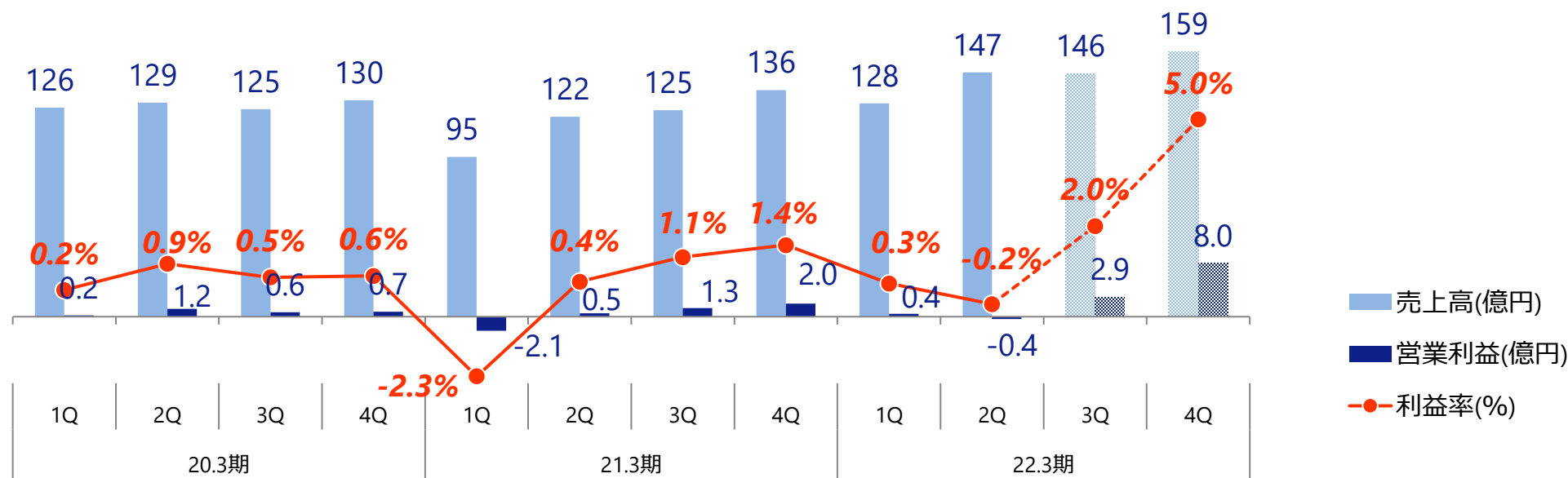
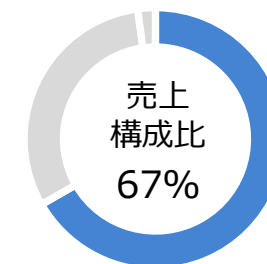


財務省貿易統計

## 【事業部門別】電子部品関連事業の実績①

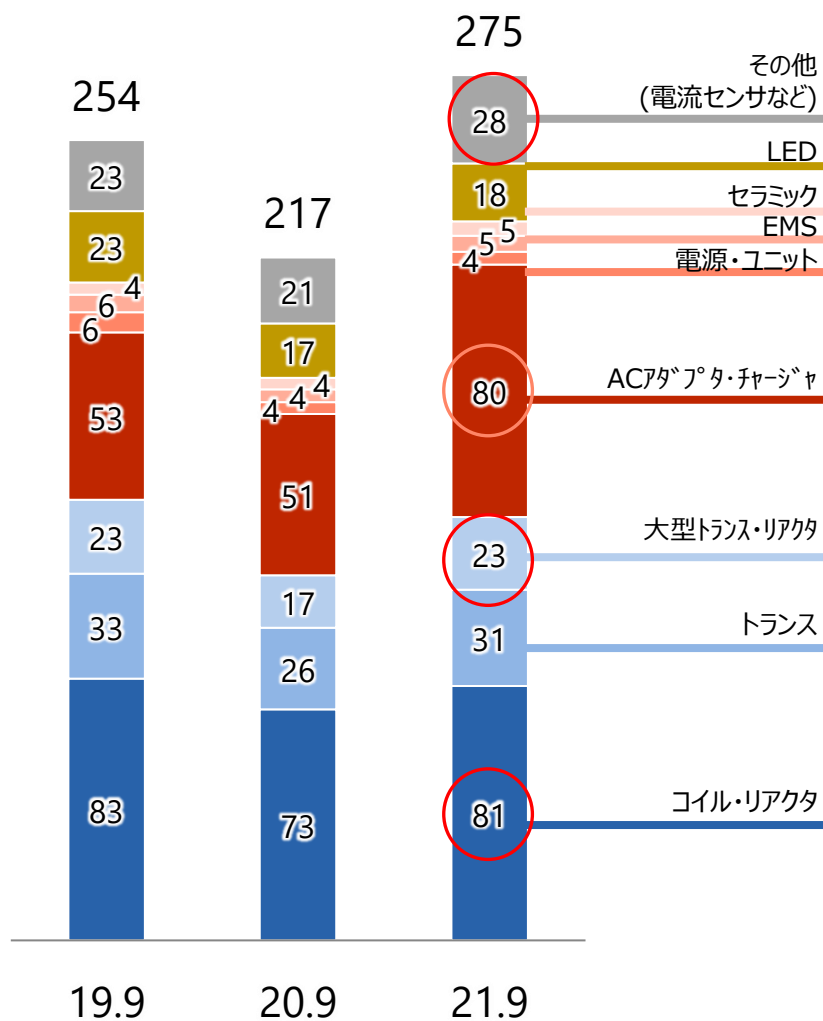
- ◆ 電動工具向けチャージャ、エアコン向けリアクタ、産業機械向けトランス・リアクタ、風力発電向け大型トランス・リアクタなどが堅調に推移。一方、銅・鉄などの原材料価格の高騰により営業利益は低迷。
- ◆ 自動販売機向けLED製品は、取引先の設備投資抑制で期待した売上に至らず、厳しい状況。

[百万円]	21.3期2Q		22.3期2Q		22.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	期初予想
売上高	21,678	▲14.7%	<b>27,470</b>	+26.7%	27,400
営業利益	▲161	-	<b>9</b>	-	400
営業利益率	▲0.7%	▲1.3pt	<b>0.0%</b>	+0.8pt	1.5%

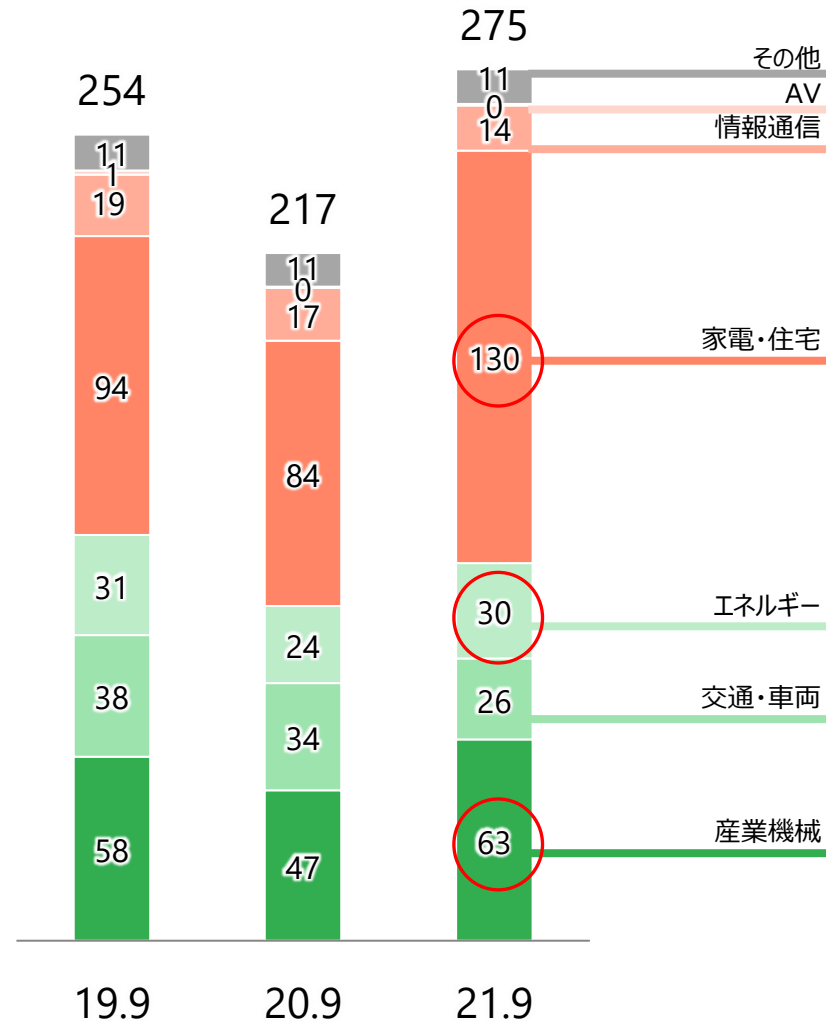


# 【事業部門別】電子部品関連事業の実績②

## 製品別売上高 [億円]



## 市場別売上高 [億円]

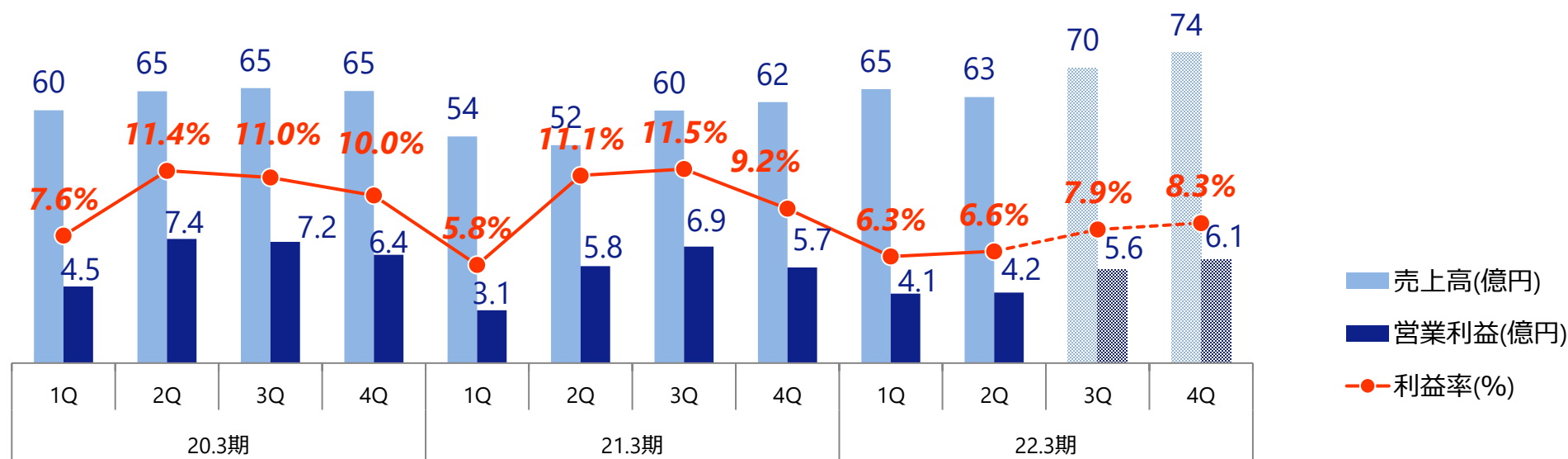
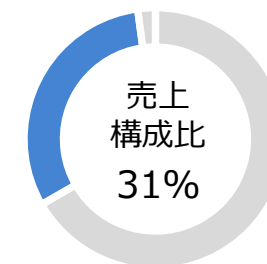


注：2021年9月期は、収益認識基準による会計基準等の適用により、車載事業（交通・車両／コイル・リアクタ）を中心に売上高が約11億円が減少しています。

# 【事業部門別】電子化学実装関連事業の実績①

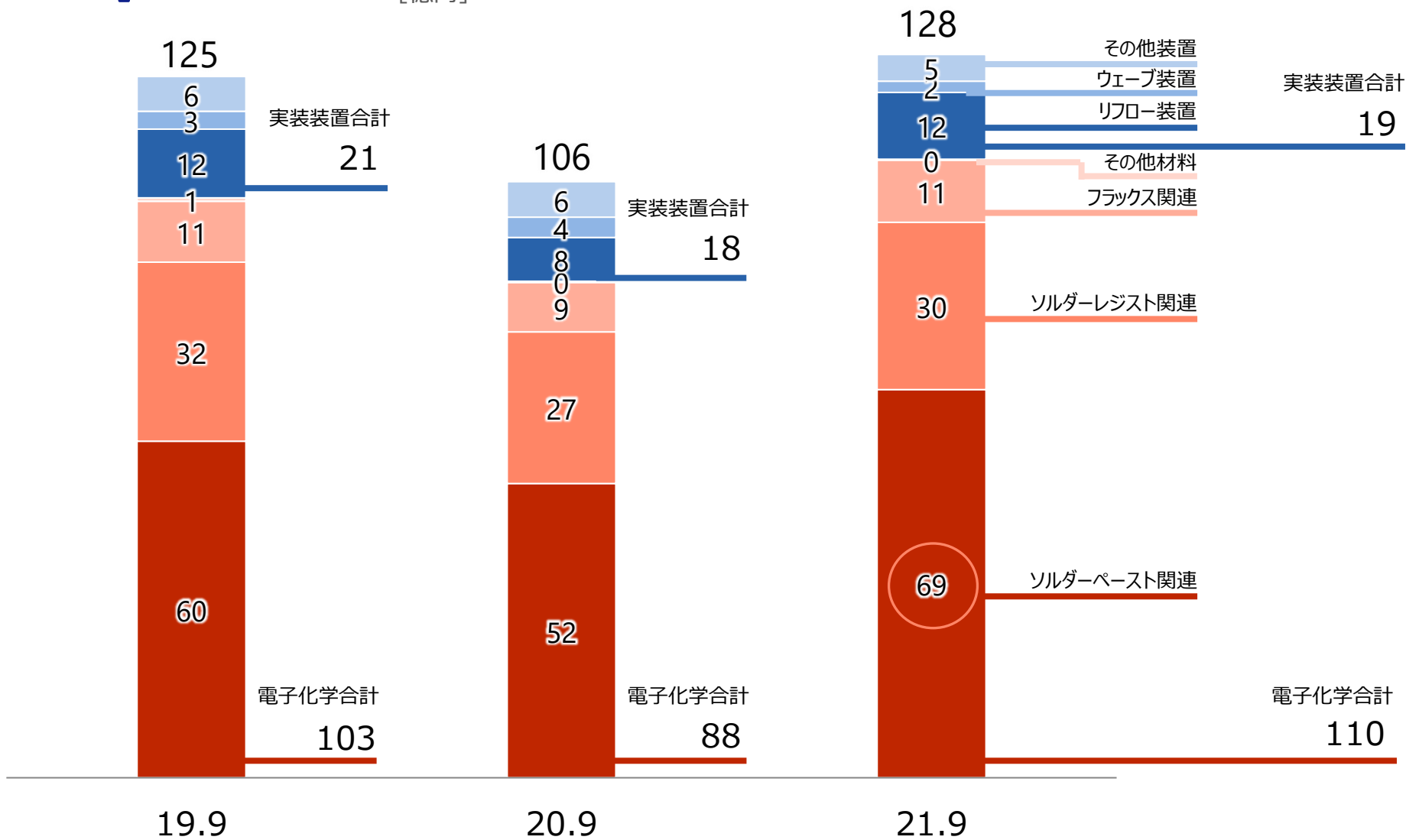
- ◆ 市場回復と溶剤ペーストの原材料である錫・銀の高騰の価格転嫁により売上は増加。
- ◆ 一方で、上がり続ける原材料価格に対して値上げが追い付かず利益は減少。
- ◆ 実装装置は、主要取引先である日系車載メーカーの需要が戻りはじめ、緩やかに回復。

[百万円]	21.3期2Q		22.3期2Q		22.3期2Q 期初予想
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	10,551	▲15.3%	<b>12,819</b>	+21.5%	13,300
営業利益	889	▲25.3%	<b>831</b>	▲6.6%	1,100
営業利益率	8.4%	▲1.1pt	<b>6.5%</b>	▲1.9pt	8.3%



# 【事業部門別】電子化学実装関連事業の実績②

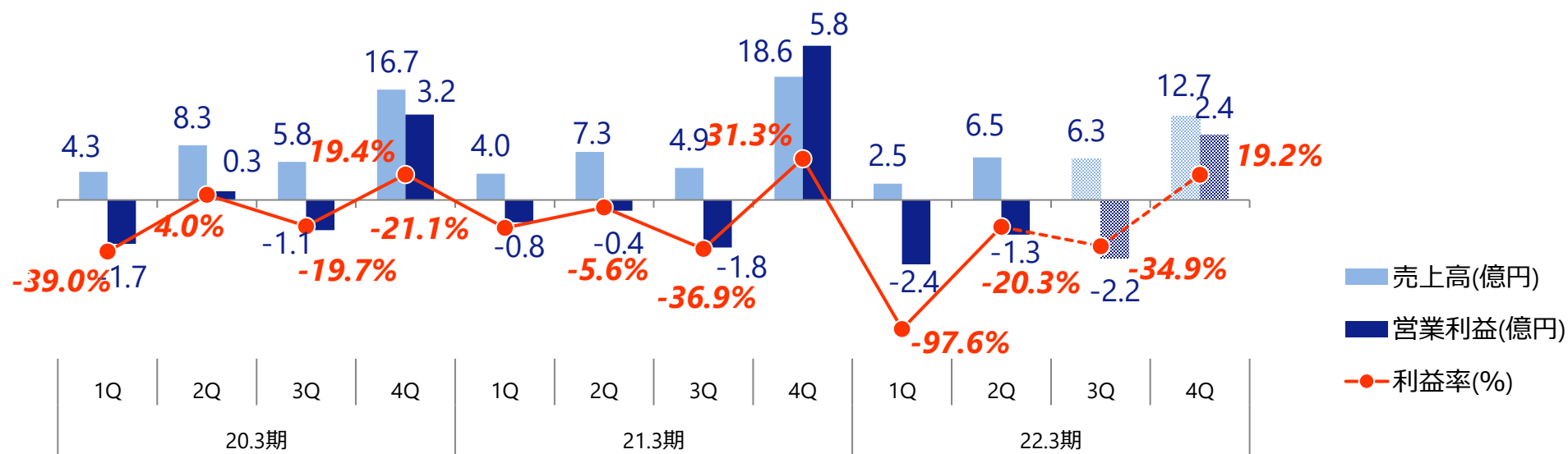
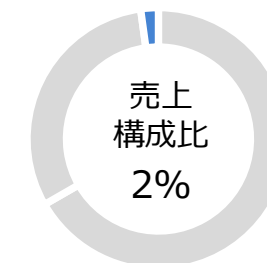
## 製品別売上高 [億円]



# 【事業部門別】情報機器関連事業の実績

- ◆ 放送機器の技術変化を見据えたネットワーク化対応などの開発費用を計上
- ◆ 国際的なスポーツイベントの開催があり、上期は放送局向けの納品が縮小

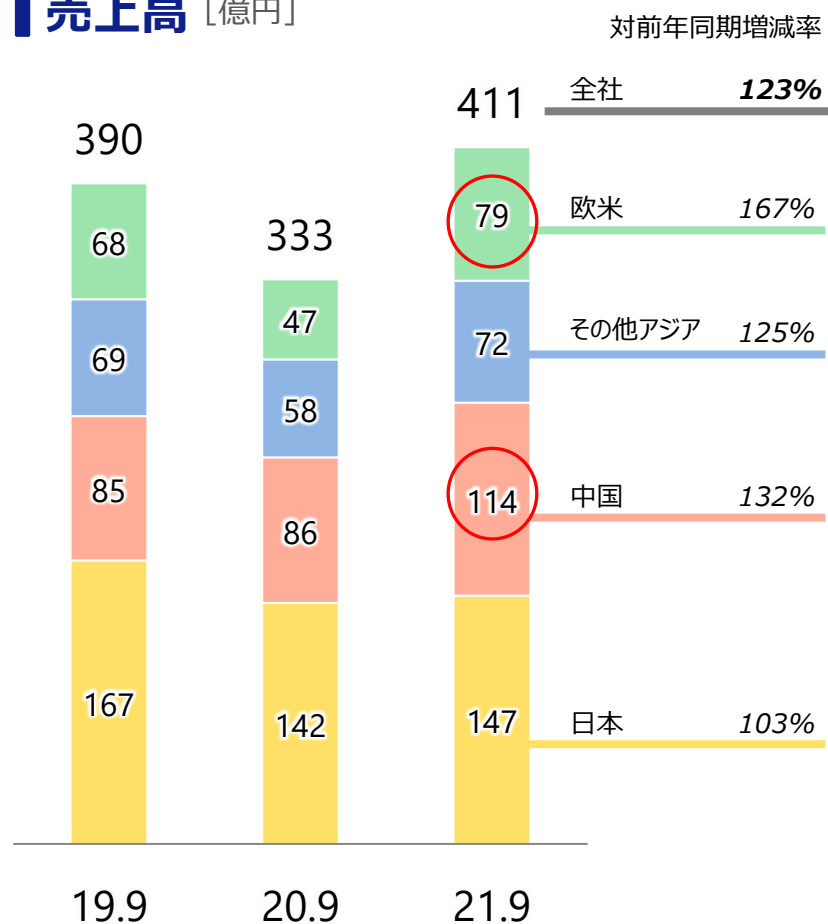
[百万円]	21.3期2Q		22.3期2Q		22.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	期初予想
売上高	1,125	▲10.1%	<b>895</b>	▲20.4%	900
営業利益	▲124	-	<b>▲374</b>	-	▲350
営業利益率	▲11.1%	▲0.5pt	<b>▲41.8%</b>	▲30.7pt	▲38.9%



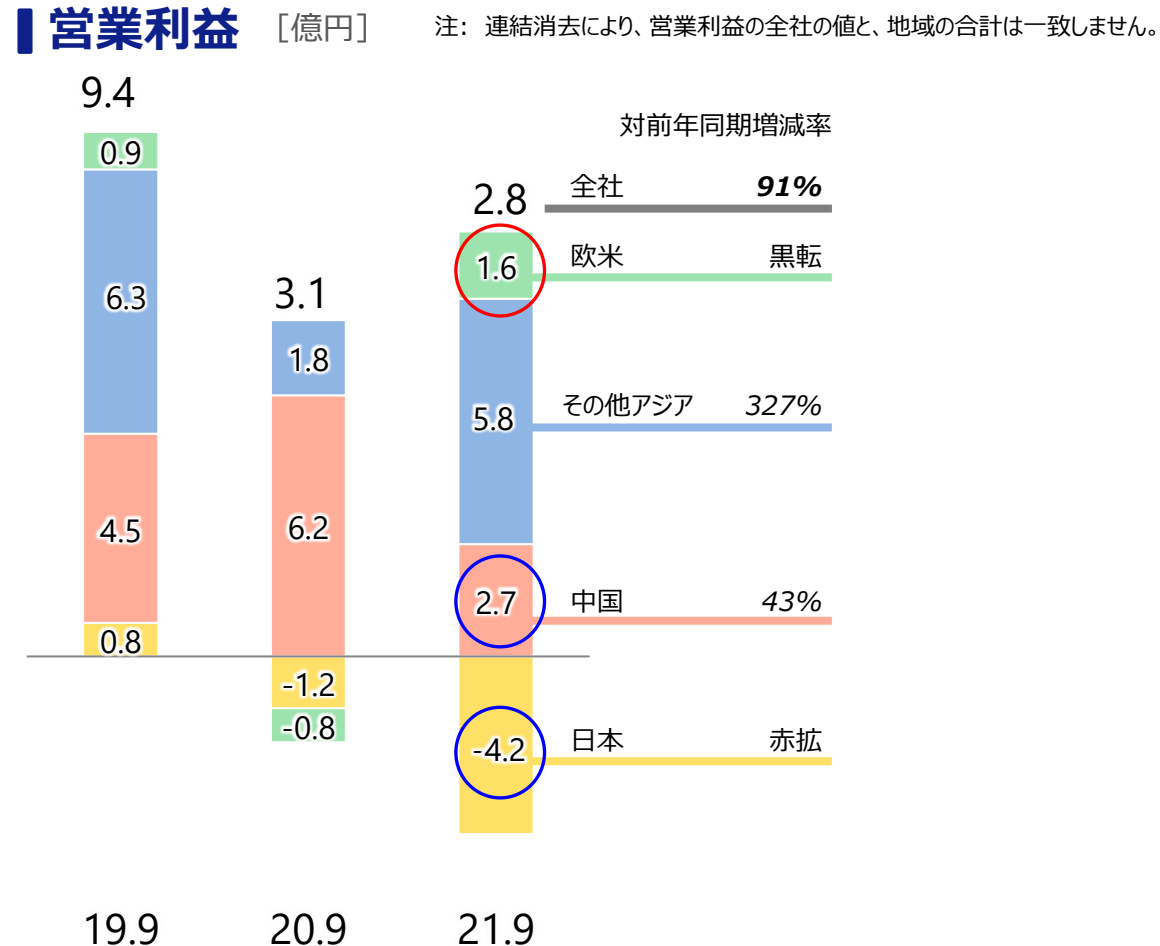
# 地域別の売上高・損益

- ◆ ソルダーペーストの主力生産拠点のある日本と中国は、原材料価格高騰による影響を大きく受けて減益
- ◆ 日本は放送機器や自動販売機などの設備投資関連が厳しく、更に赤字が拡大
- ◆ その他アジア（韓国およびASEAN）、欧米は前年同四半期のコロナによる停滞から回復

## 売上高 [億円]



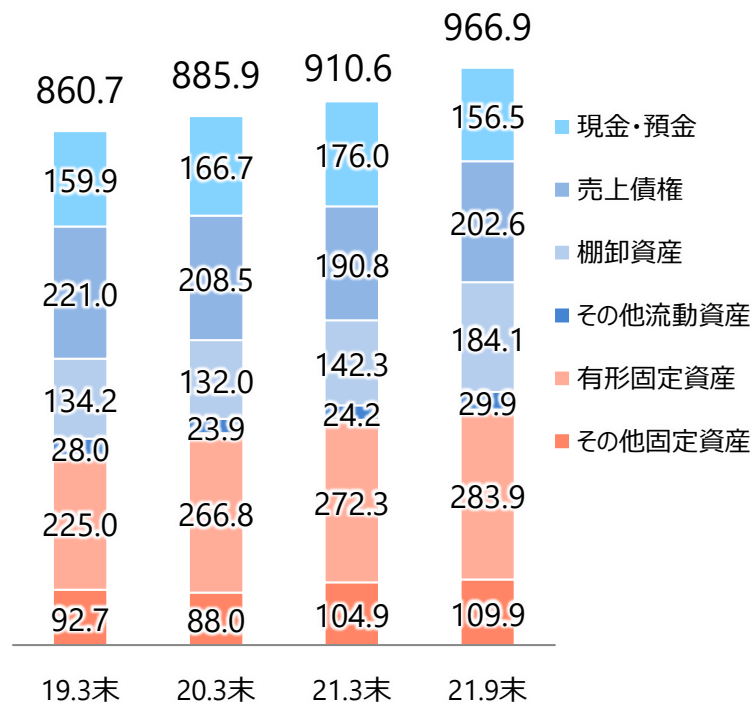
## 営業利益 [億円]



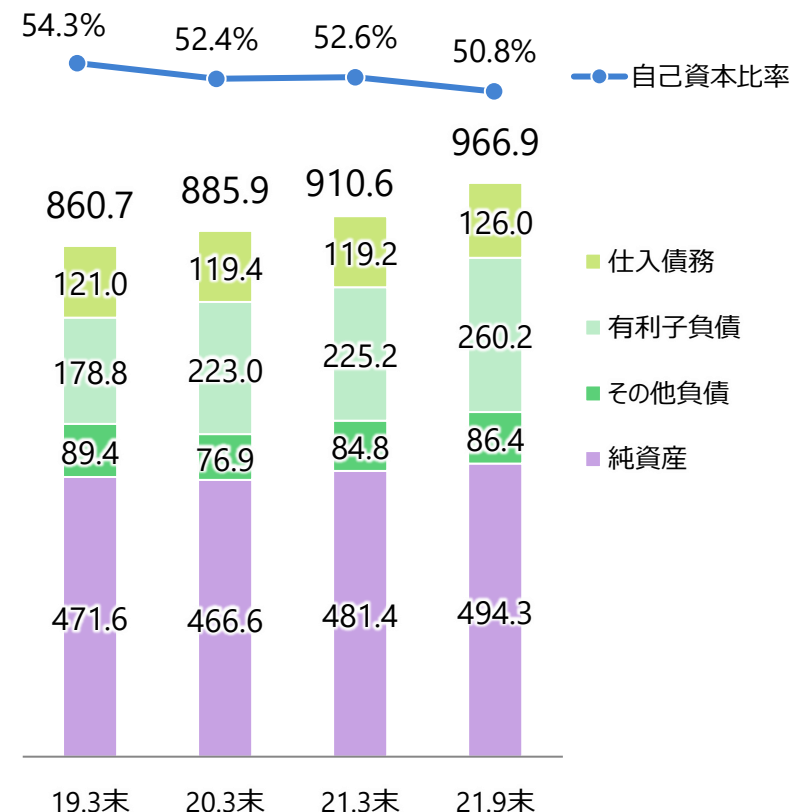
# 貸借対照表

- ◆ 受注拡大および部材供給不足への対応で棚卸資産が増加。有形固定資産は中国の工場新設などで増加。
- ◆ 車載新工場建設や中国拠点の移転などへの対応で、有利子負債が増加。

## 資産 [億円]



## 負債・純資産 [億円]





## 2. 2022年3月期 通期業績予想

---

# 損益予想

- ◆ 家電や産業機械関連顧客からの旺盛な需要や、原材料価格高騰の販売価格への転嫁で売上高は増加
- ◆ 放送機器・情報機器・自販機向けLED製品の売上・利益は、半導体入手困難などにより期初予想より減少
- ◆ 原材料価格高騰の影響は、3Q以降の電子部品関連は価格改定で改善していくと想定

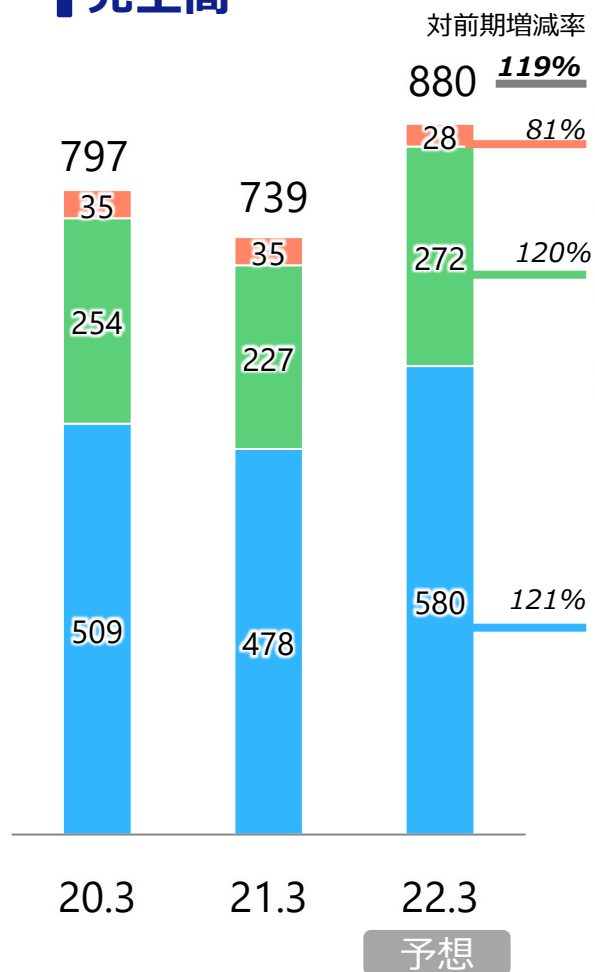
[百万円]

	2021.3期			2022.3期			2022.3期	
	実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比	期初予想	構成比
売上高	73,906	100.0%	▲7.2%	<b>88,000</b>	100.0%	+19.1%	86,000	100.0%
営業利益	1,969	2.7%	▲14.0%	<b>2,200</b>	2.5%	+11.7%	3,400	4.0%
経常利益	2,384	3.2%	▲5.0%	<b>2,350</b>	2.7%	▲1.4%	3,400	4.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	542	0.7%	▲47.0%	<b>1,100</b>	1.3%	+102.7%	2,200	2.6%
為替 (円/米ドル)	期中平均	105.43	▲2.99pt	109.00		+3.57pt	105.00	
	期末	110.71	+1.88pt	109.00		▲1.71pt	105.00	
1株当り配当	8.00円		▲2.00円	10.00円		+2.00円	10.00円	
配当性向	121.1%		+41.0pt	75.2%		▲45.9pt	37.3%	
ROE	1.2%		▲1.0pt	2.2%		+1.0pt	4.5%	

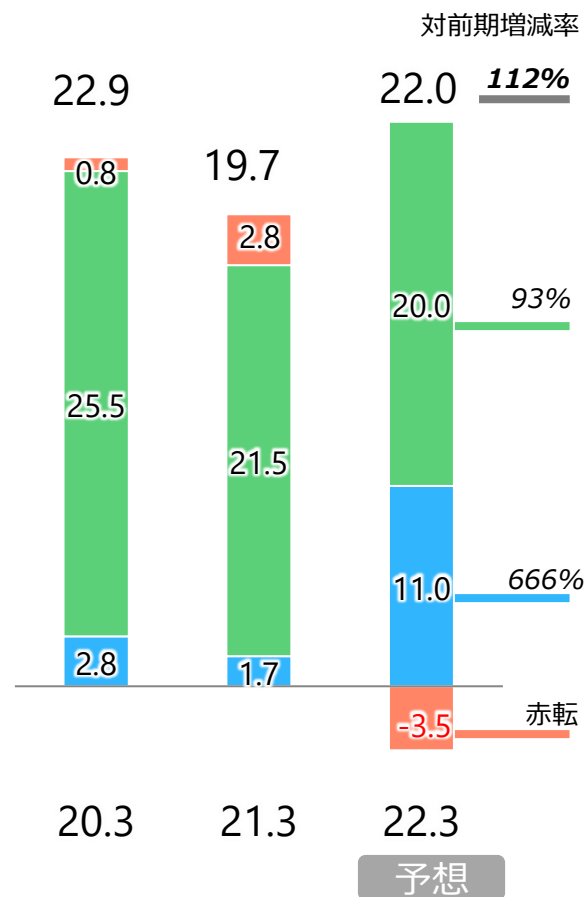
# 事業部門別の売上高・損益見通し

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

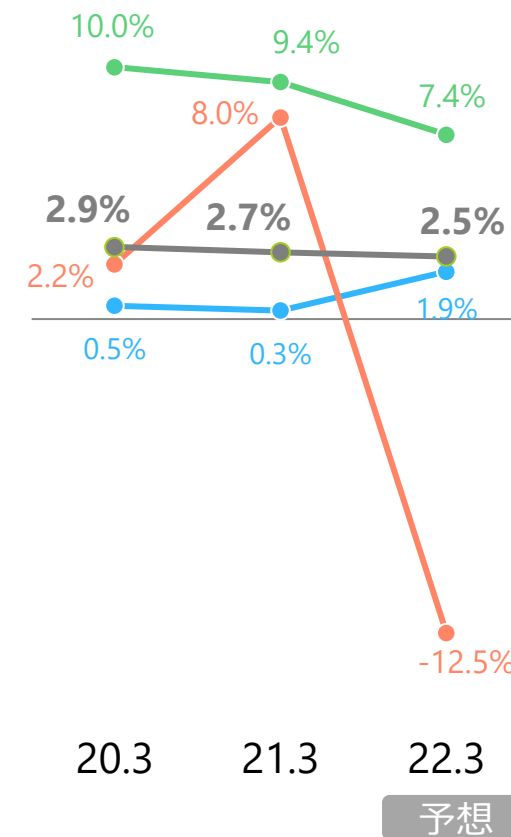
## 売上高



## 営業利益



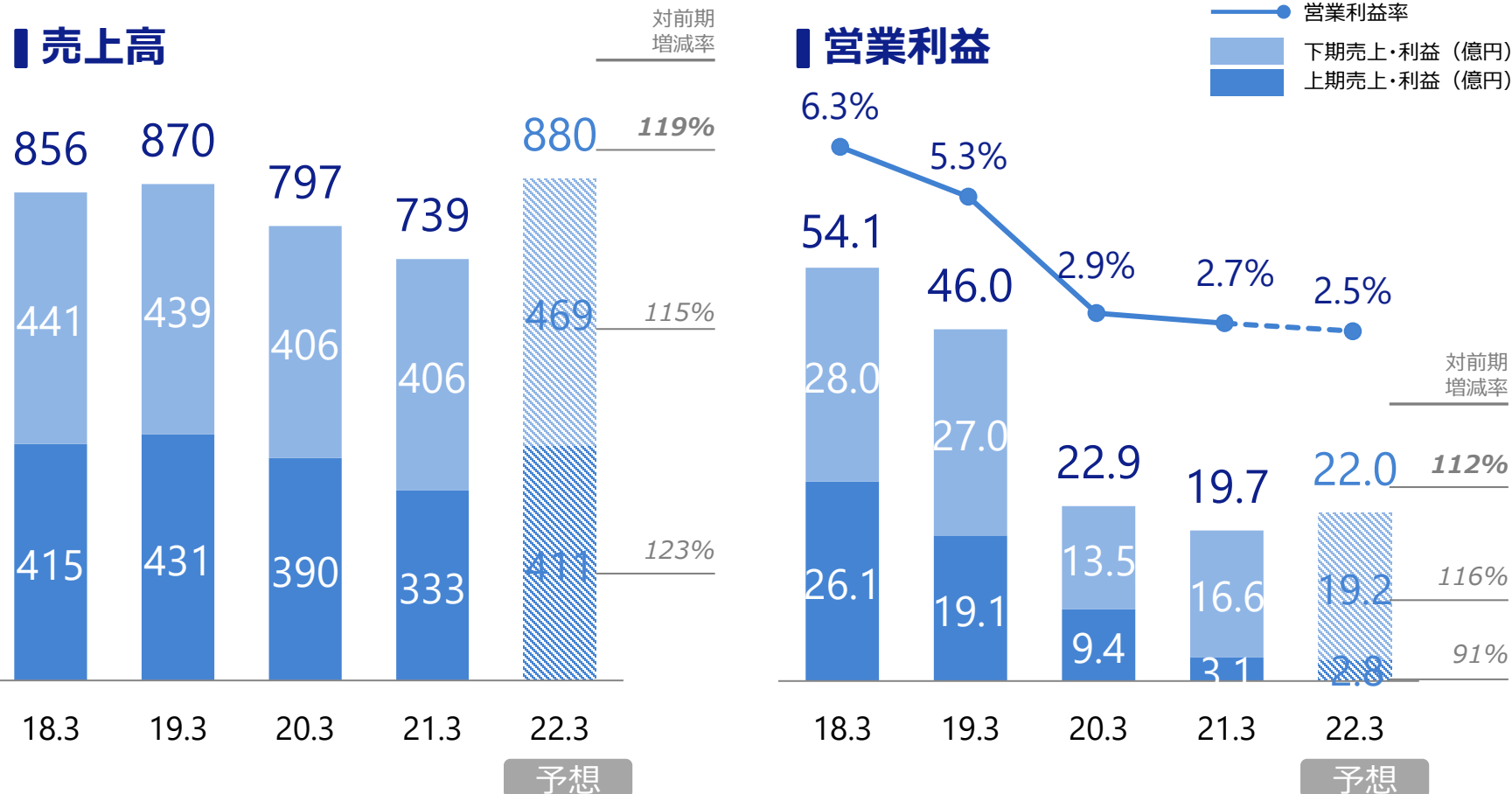
## 営業利益率



注：連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

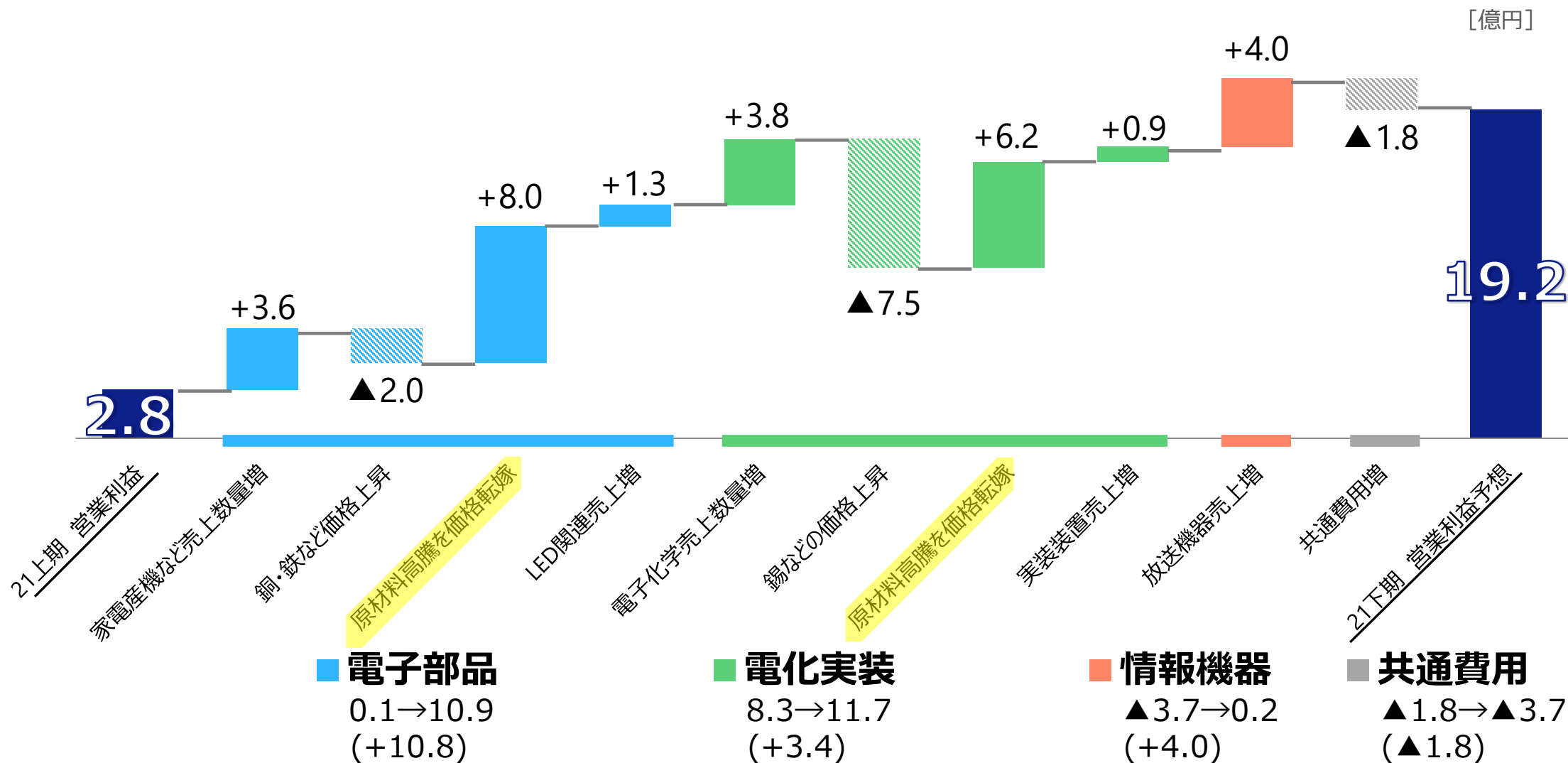
# 損益予想（半期推移）

- ◆ 家電・産機・エネルギー向けの売上は、下期も期初計画を上回る
- ◆ 期初計画より弱いが、4Qは放送機器や自動販売機向けLED製品の納品が集中し売上が増加
- ◆ 原材料価格の高騰による減益要因は、3Q以降価格改定により改善していくと想定



# 下期営業利益 対上期増減

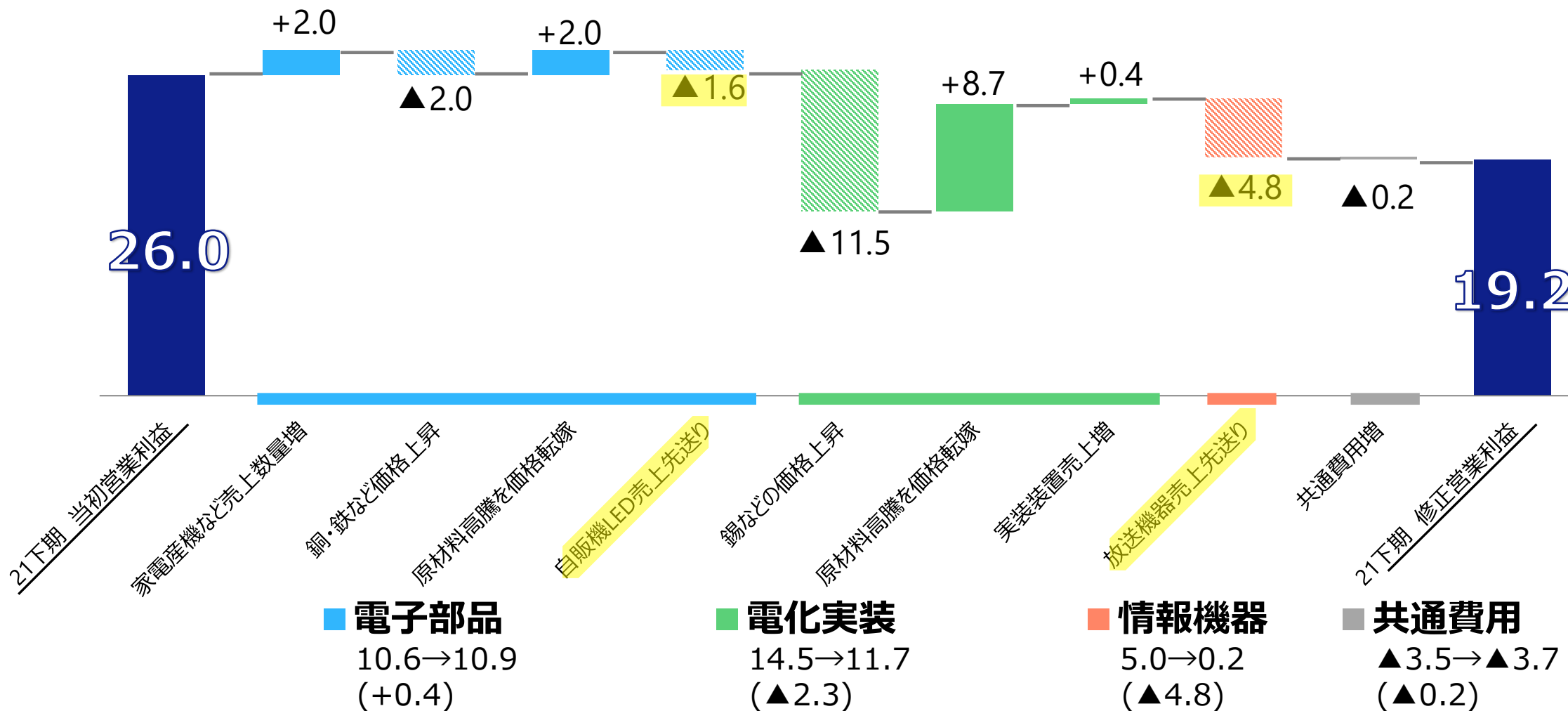
2021年上期実績 2.8億円 → 2021年下期予想 19.2億円 (+16.3億円)



# 下期営業利益 対当初計画からの増減

■ 2021年下期当初 26.0億円 → 2021年下期修正 19.2億円 (▲6.8億円)

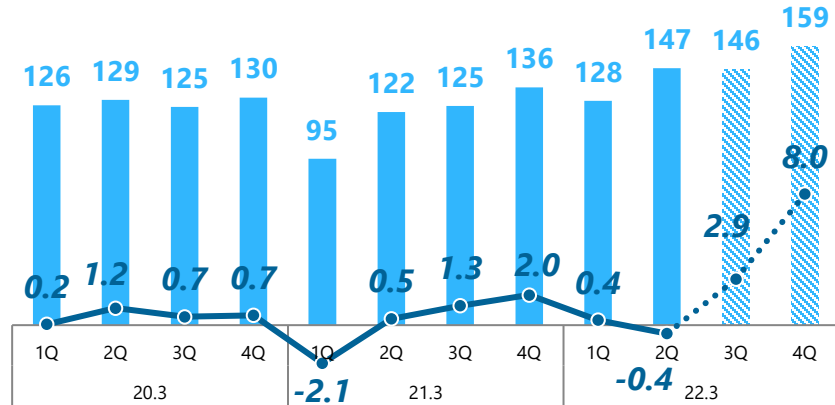
[億円]



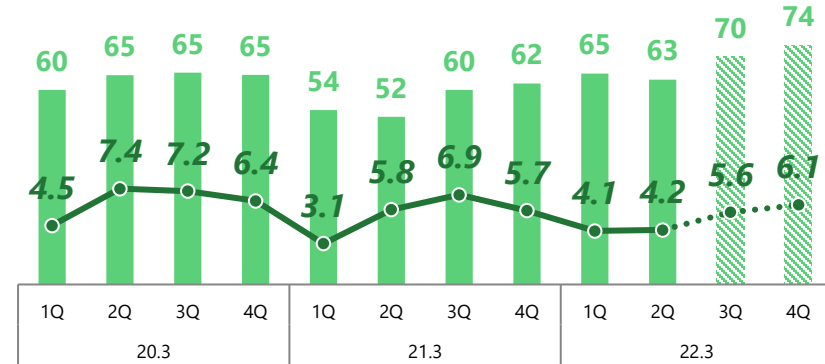
# 事業部門別の売上高・損益（四半期推移）

■ 売上高(億円)    ●— 営業利益(億円)

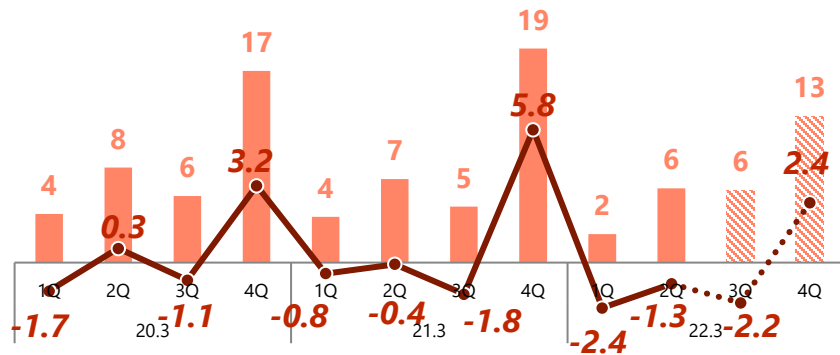
## 電子部品



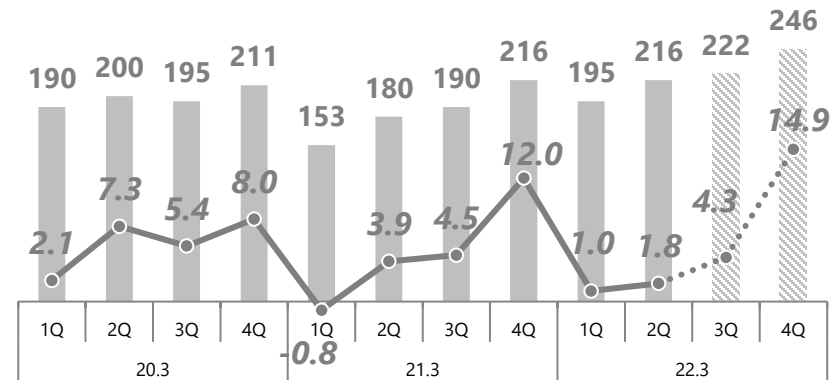
## 電子化学実装



## 情報機器



## 全社

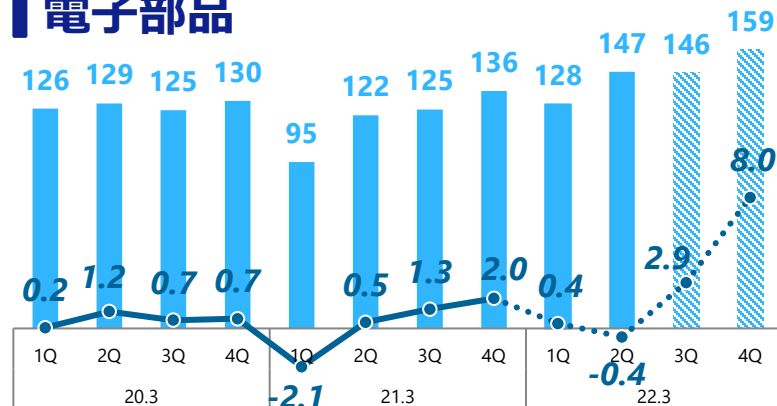


注：放送機器の売上は期末（2Q・4Q）に集中する傾向あり

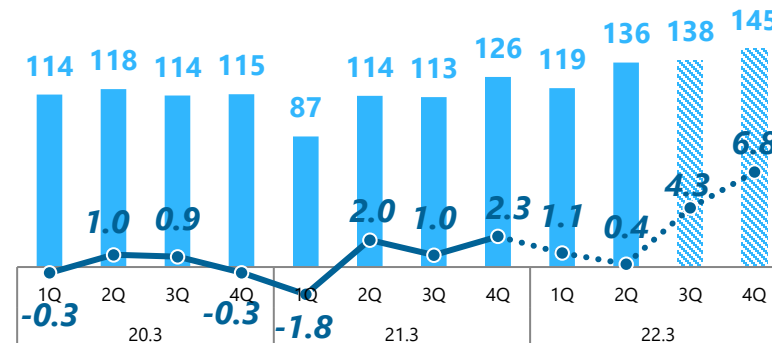
# 参考：電子部品－光波事業、情報機器＋光波事業

当社の「電子部品事業」には自動販売機向けLED製品を主に扱う「光波事業」が含まれています。製品開発・顧客開拓の両面でシナジーを期待し、現在「光波事業」は、放送機器・情報機器を扱う「情報機器事業」と連携した活動を進めています。また、情報機器と光波は製品納入が極度に期末集中する事業特性も共通しています。事業活動の実態に近い、光波を電子部品事業から除き、情報機器事業に加えた試算を以下に示します。

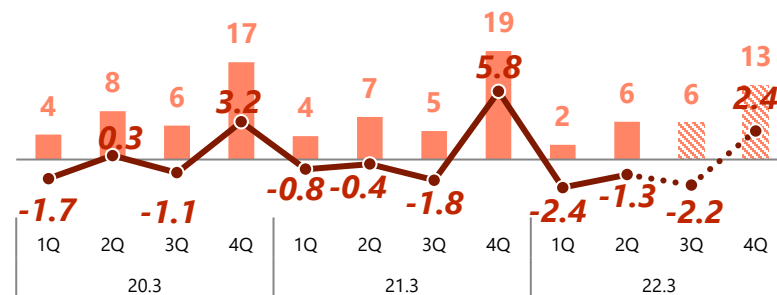
## 電子部品



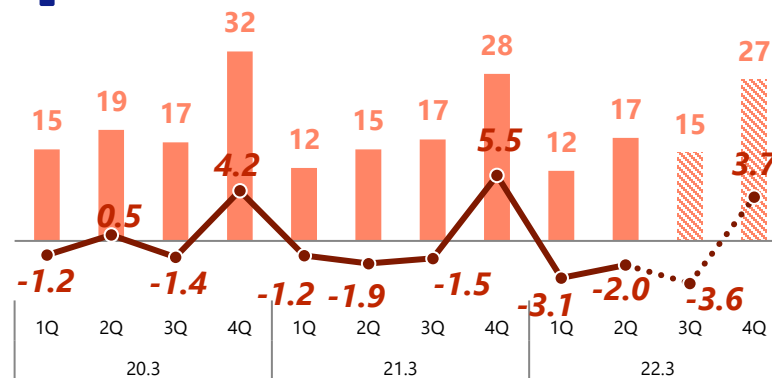
## 電子部品－光波事業 ※期末(4Q)集中が弱まる



## 情報機器



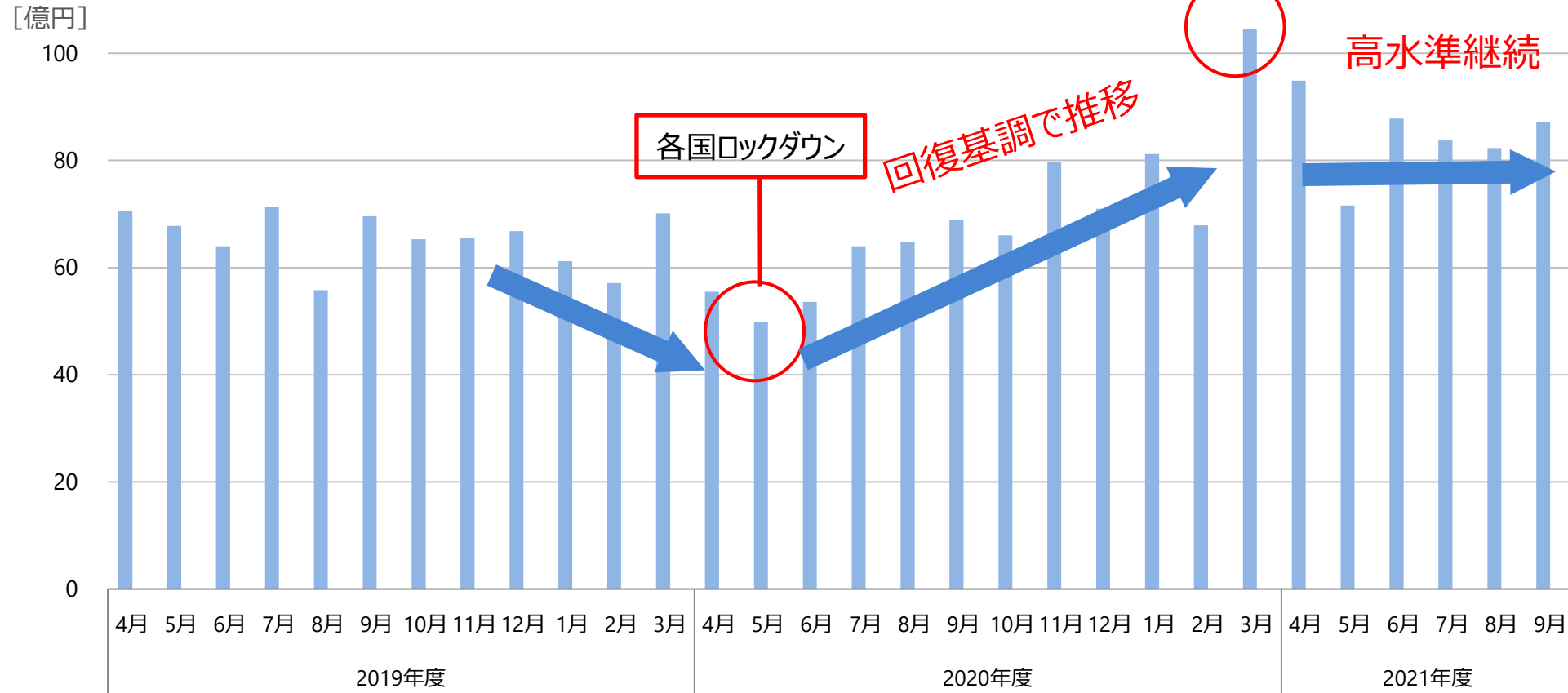
## 情報機器＋光波事業 ※期末集中がより顕著に





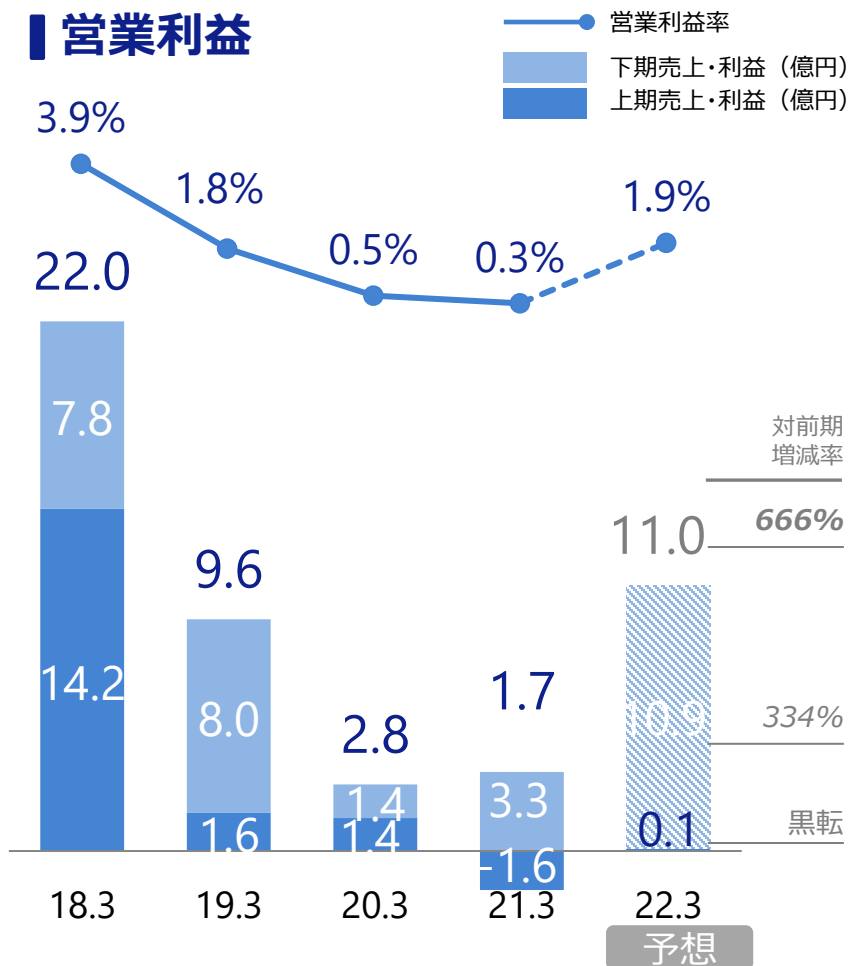
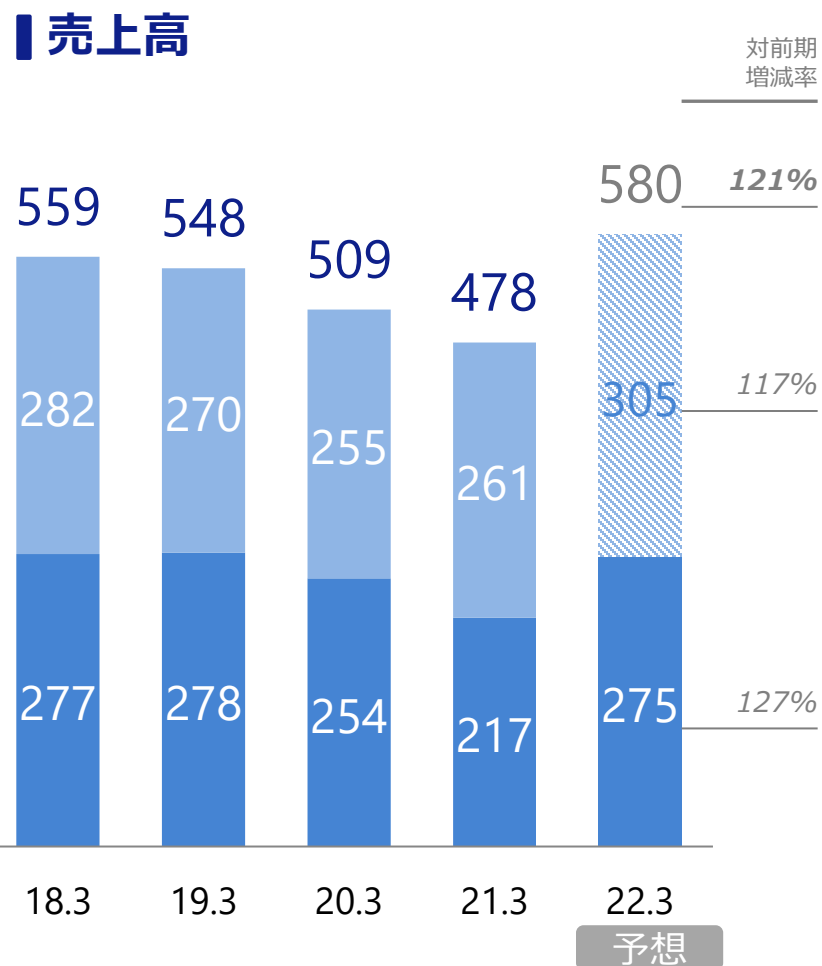
# 月次受注推移

## ■ 受注高 (同月ベース)



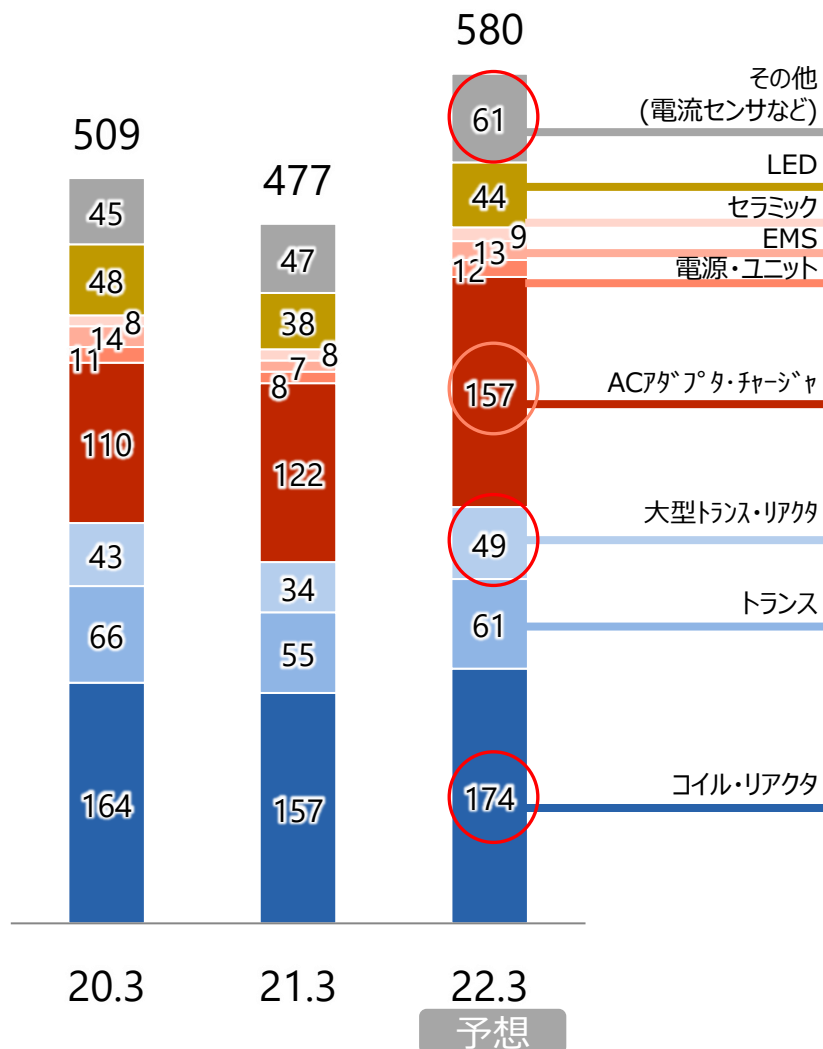
# 【事業部門別】電子部品関連事業の見通し①

- ◆ 電動工具用チャージャ、エアコン用リアクタ、産業機械や風力発電用トランス・リアクタは高水準の売上が継続
- ◆ 車載用リアクタは秋口に半導体不足の影響を受けるものの、年間で大きな崩れは無い見通し
- ◆ 下期も自動販売機向けLED製品は厳しい状況が継続

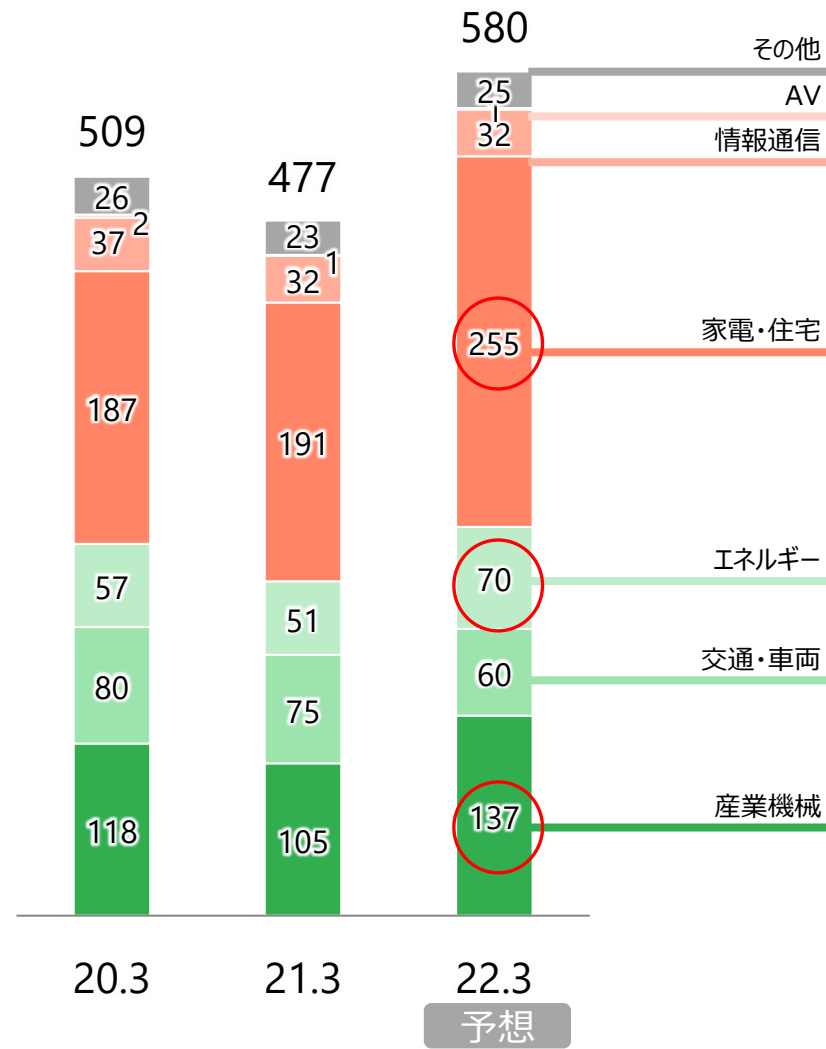


# 【事業部門別】電子部品関連事業の見通し②

## 製品別 売上高 [億円]



## 市場別 売上高 [億円]

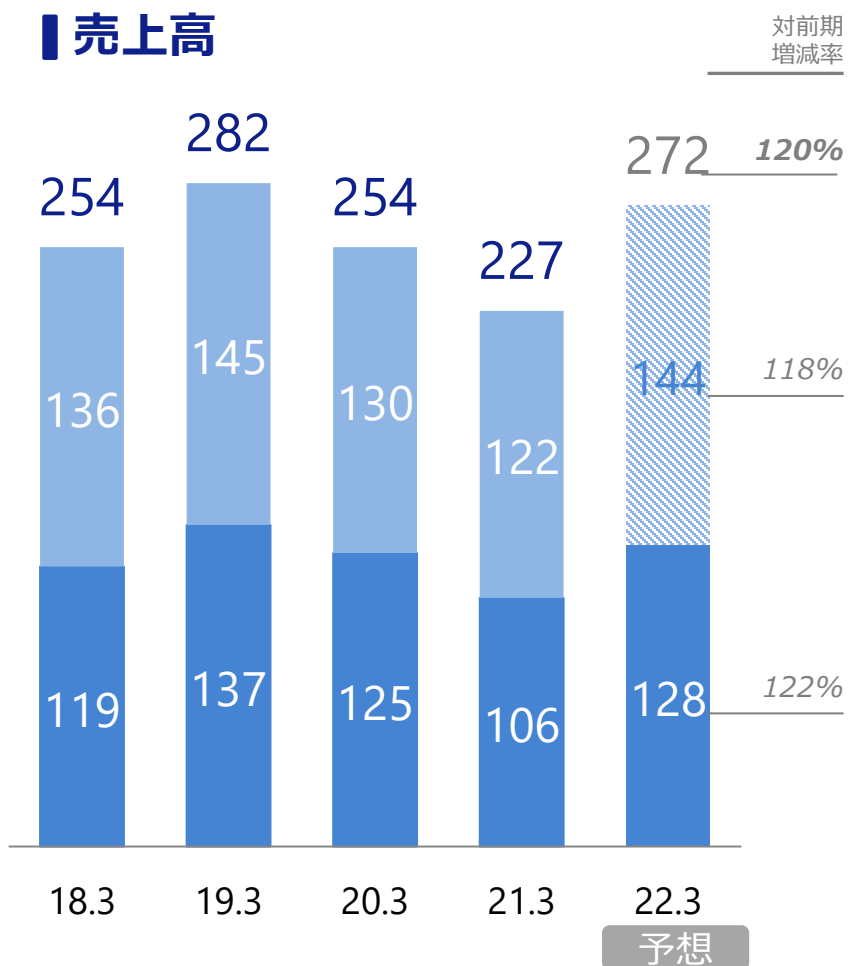


注：2022年3月期は、収益認識基準による会計基準等の適用により車載事業（交通・車両／コイル・リアクタ）を中心に売上高が約27億円が減少しています。

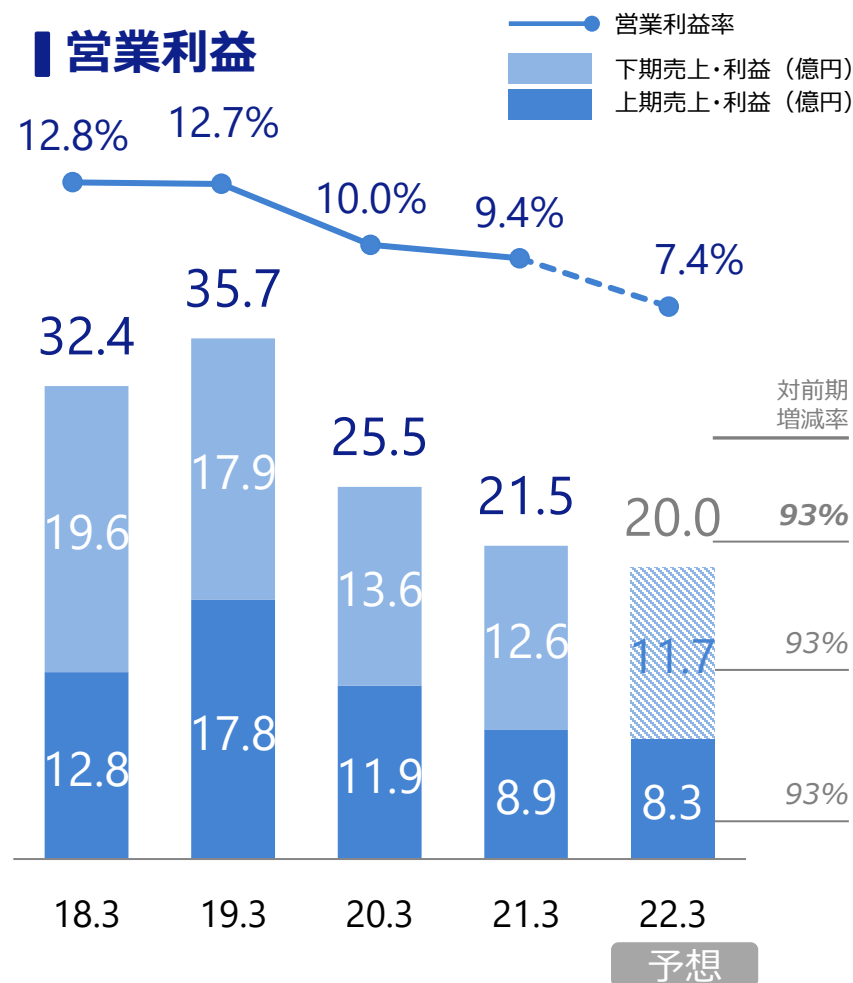
# 【事業部門別】電子化学実装関連事業の見通し①

- ◆ 錫などの原材料価格の高騰を販売価格へ転嫁が進むことにより売上高は増加するが、利益率は低下
- ◆ 実装装置は日系車載メーカー向けを中心に緩やかに回復が続く

## 売上高

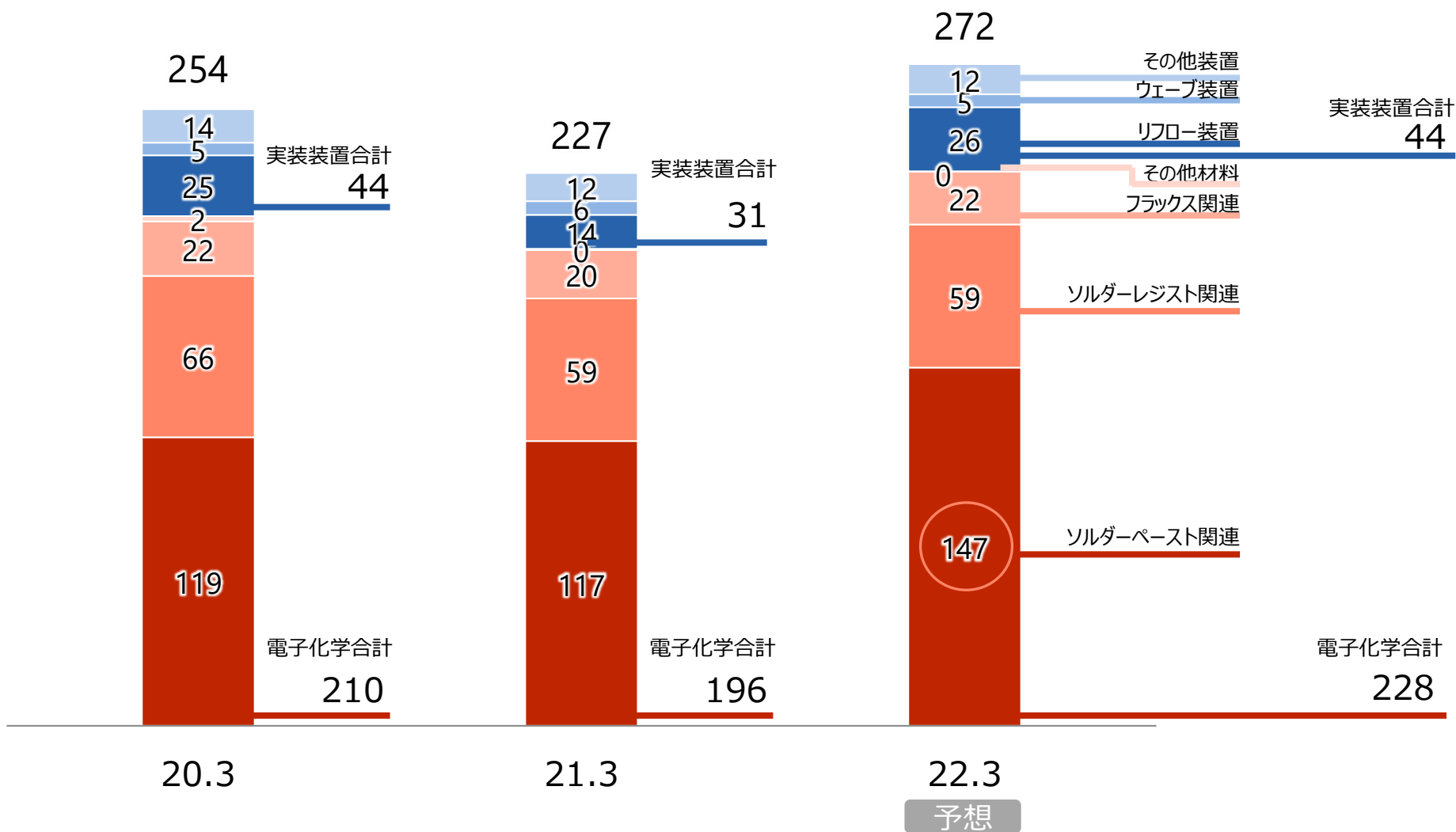


## 営業利益



# 【事業部門別】電子化学実装関連事業の見通し②

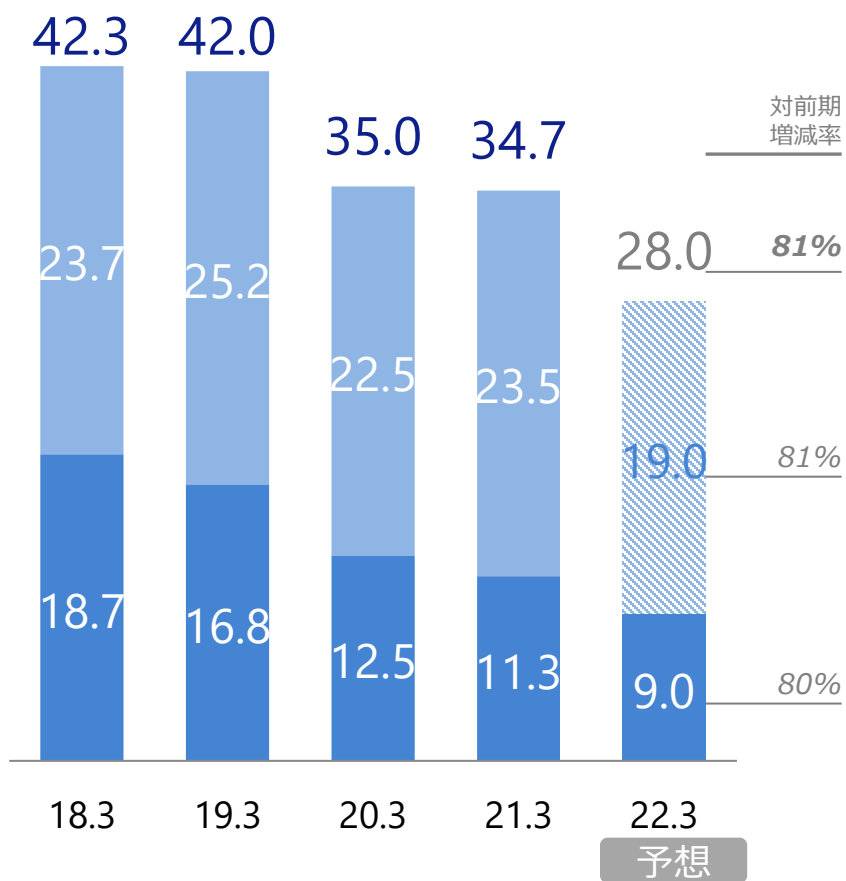
## 製品別売上高 [億円]



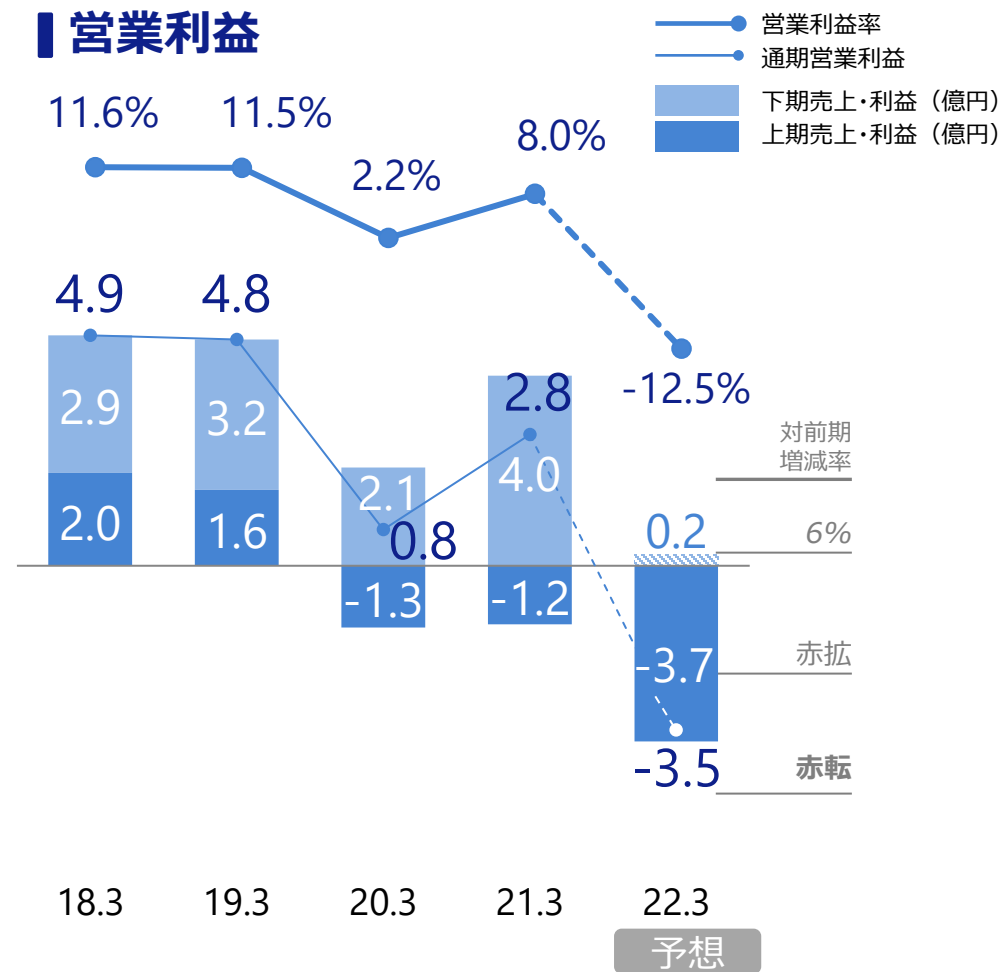
# 【事業部門別】情報機器関連事業の見通し

- ◆ 4Qに予定していた放送設備・情報通信機器の納品の一部が、半導体の入手困難などにより来年度に先送り
- ◆ 来年度以降、キー局の社屋建て替えに伴う放送機器の売上拡大を見込む

## 売上高



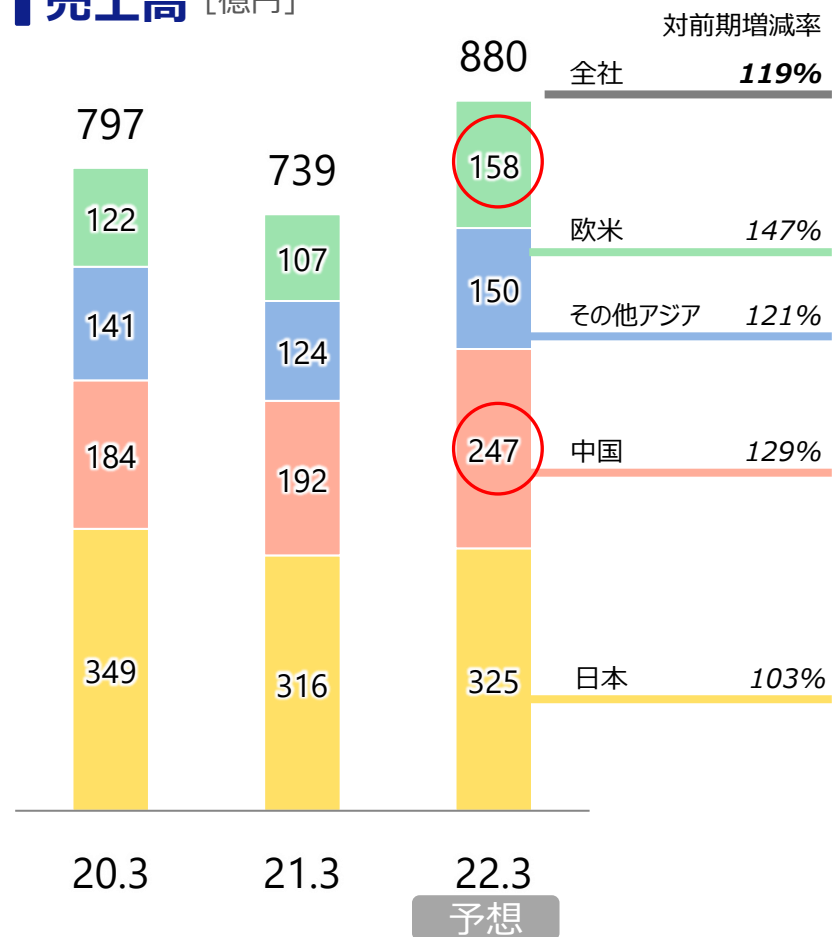
## 営業利益



# 地域別の売上高・損益の見通し

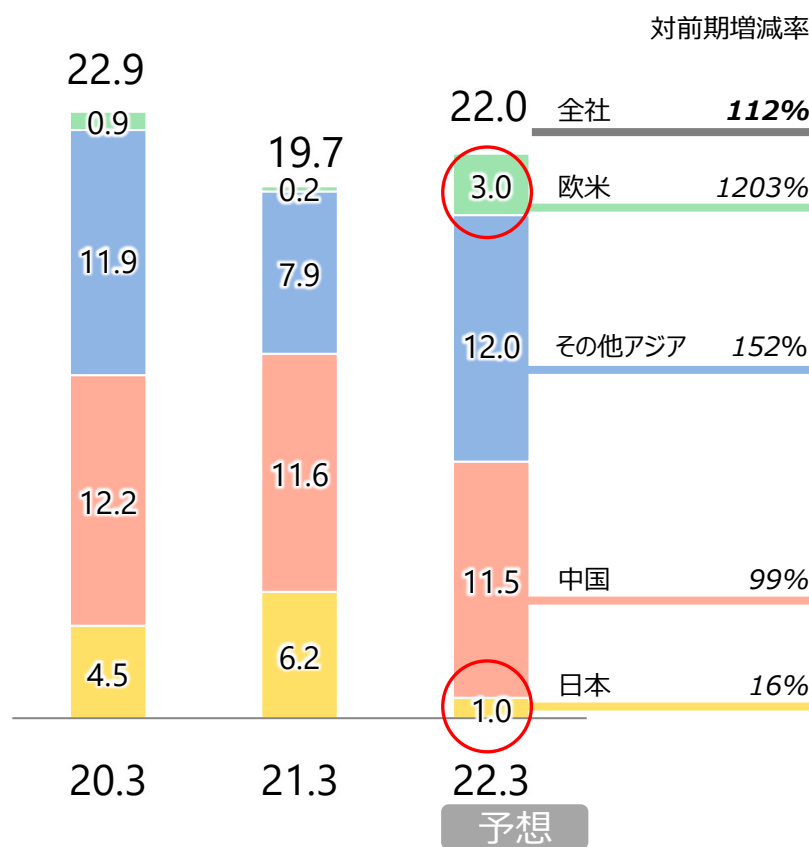
- ◆ 中国は下期以降、原材料価格の销售价格転嫁により収益回復を見込む
- ◆ 日本は、放送機器・情報機器・自動販売機などが厳しく低調
- ◆ 欧米は風力発電向け大型トランス・リアクタを中心に引き続き堅調

## 売上高 [億円]



## 営業利益 [億円]

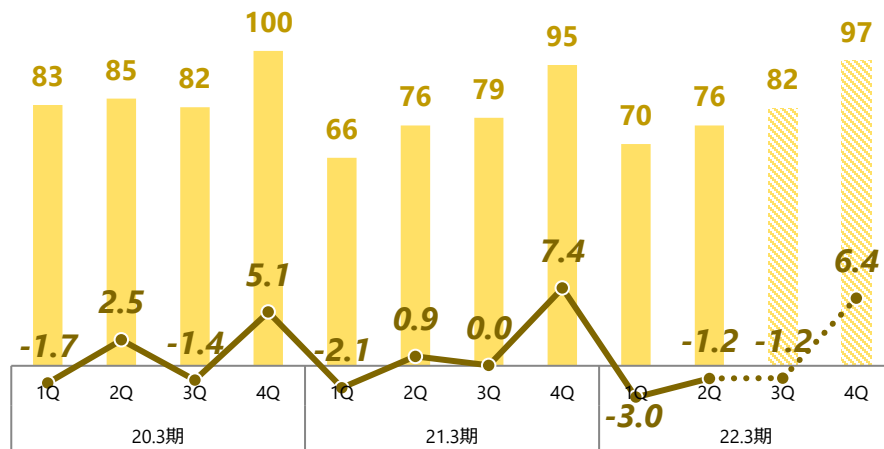
注：連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計は一致しません。



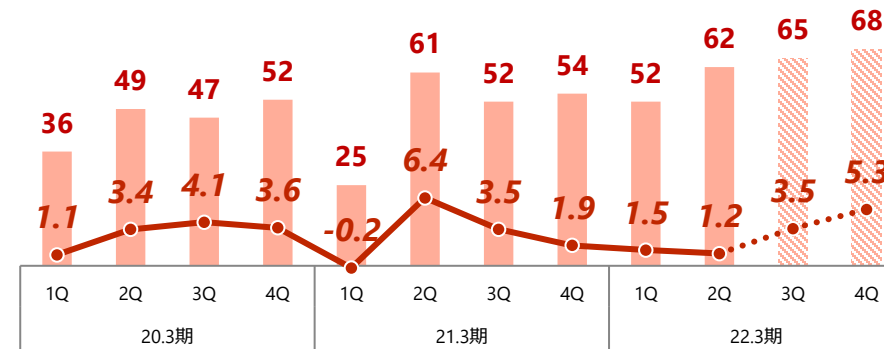
# 地域別の売上高・損益 (四半期推移)

■ 売上高(億円)    ● 営業利益(億円)

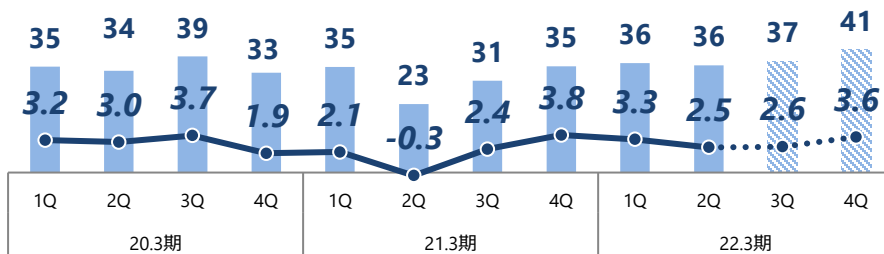
## 日本



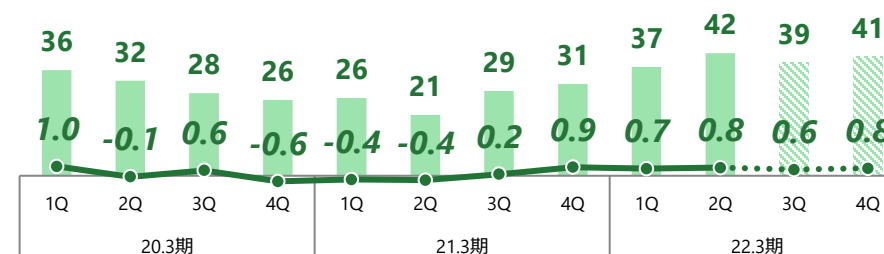
## 中国



## その他アジア



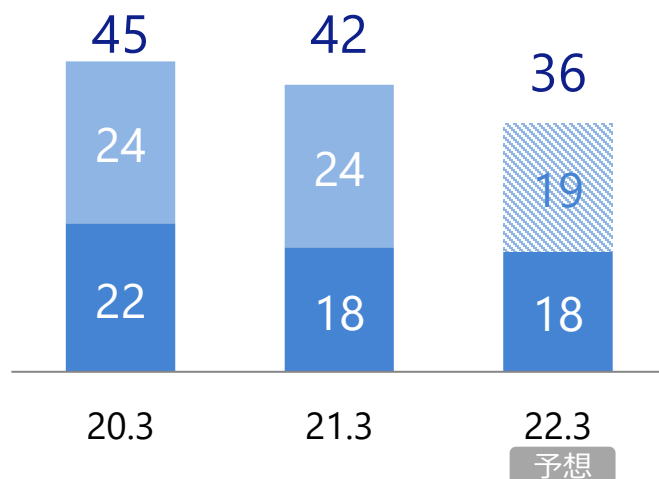
## 欧米



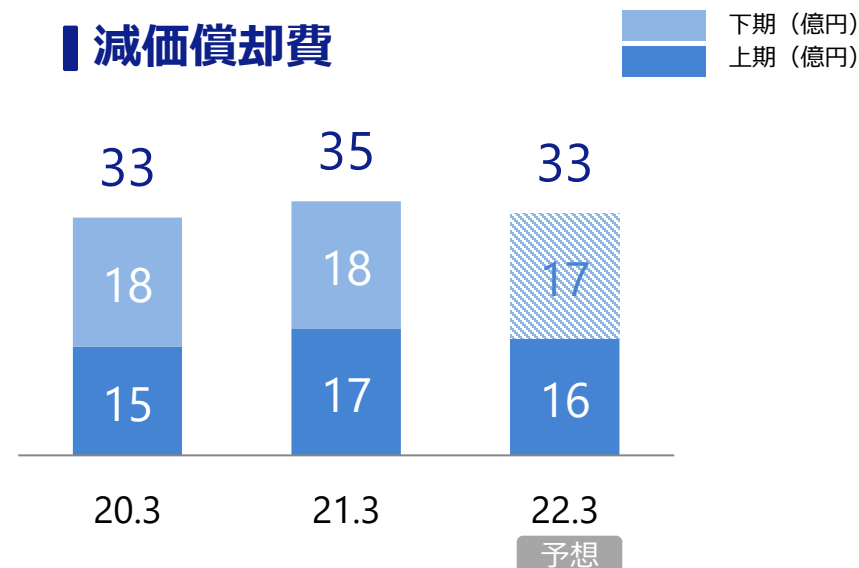


# 設備投資・研究開発投資

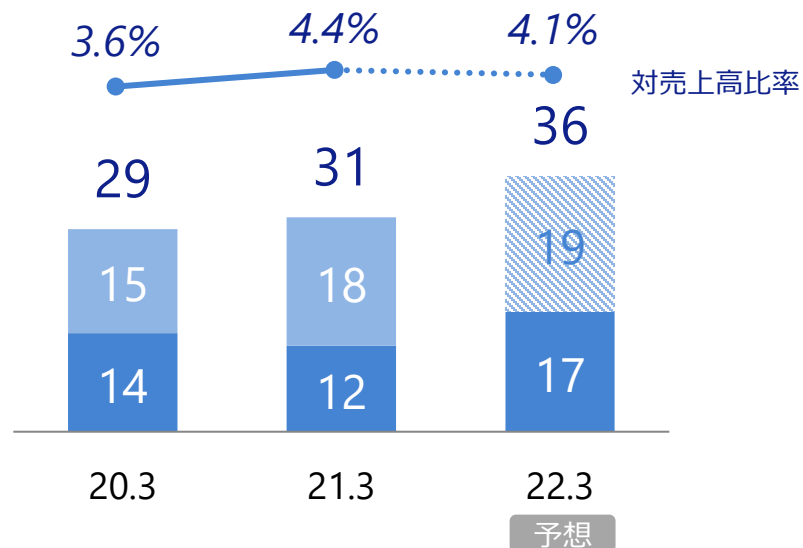
## 設備投資 ※リースを含む



## 減価償却費



## 研究開発関連費用



### 主な設備投資

- 電子部品: 車載関連生産設備増強・中国拠点再編関連
- 電子化学実装: 国内外生産設備増強

### 主な開発投資

- 次世代パワー半導体向け電子部品・電子化学材料
- 車載用電子部品
- 環境貢献型リフロー装置
- 音声卓 (ミキサー) のネットワーク対応

注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

### 3. トピックス

カーボンニュートラルの実現に向けたタムラの取り組み

# カーボンニュートラルの実現に向けたタムラの取り組み

カーボン  
ニュートラルに  
向けた取り組みが  
世界で加速

- ✓ 次世代自動車への転換
- ✓ 世界各国で再生可能エネルギー強化
- ✓ 企業活動や生活場面での省エネ強化

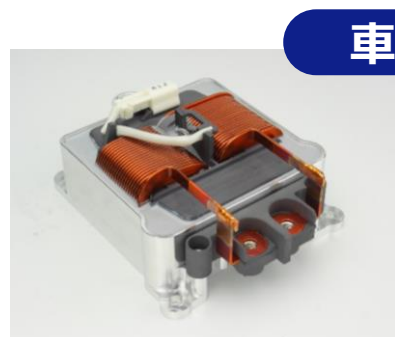
HEV・PHEV・EV・FCV...

風力発電・太陽光発電...

企業のTCFDに沿った情報開示  
経産省エアコン省エネ目標引上げ



タムラのトランス・リアクタはエネルギー変換の基幹部品。期待されるシーンで既に活躍しています。



車載

車載用リアクタ



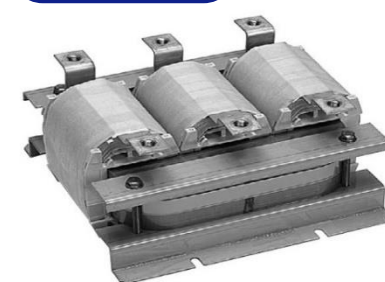
風力発電用大型トランス・リアクタ

パワエレ



エアコン用リアクタ

IoT



産業用トランス・リアクタ

# カーボンニュートラルの実現に向けた更なる技術開発

自動車の電動化や、再生可能エネルギーによる発電や送配電、充電設備の設置など、大容量の電気エネルギーをコントロールする場面が拡大。

電気製品が動作するには、多くのエネルギー変換の過程が必要。エネルギー変換場面における高効率化が省エネ性能 = カーボンニュートラルに直結。

そこで求められる技術 = **高周波化**

高周波磁性部品のコア材料  
**ダストコア(圧粉磁心)**

高熱を発生する高周波部品に対応  
**高耐熱接合材**

高周波・高耐圧  
**次世代パワー半導体**  
(酸化ガリウム)

※カーブアウトベンチャー「ノバルクリスタルテクノロジー」で取扱

----- **高周波化で求められる技術を、Oneタムラで強化** -----

# 高周波化におけるタムラの取り組み



市場ニーズ  
エネルギー  
大容量化

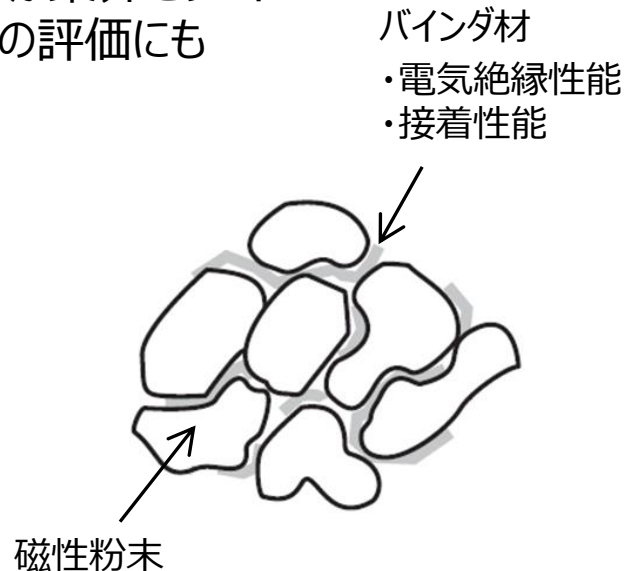
革新的  
エネルギー  
変換

支える  
タムラ技術

# 高周波化を支えるタムラの素材技術

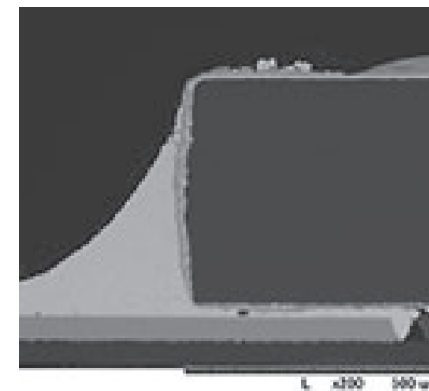
## ダストコア

- 粒径数十 $\mu$ ～数百 $\mu$ の磁性粉末に絶縁処理を施した後、潤滑剤を混合し、成型、熱処理を施したコア
- 高周波対応磁性部品の実現にはダストコアが必須とされています。
- ダストコアの技術はタムラが業界をリードしており、車載用リアクタの評価にもつながっています。



## 高耐熱接合材

- 現在主流のSiパワー半導体の動作温度は175 $^{\circ}$ C程度
- 次世代パワー半導体(SiC、GaN、酸化ガリウム等)の動作温度は200 $^{\circ}$ C～300 $^{\circ}$ Cとなります。
- リフロー実装可能な次世代パワー半導体向け新接合材料の開発を進めています。





# ゲートドライバモジュール

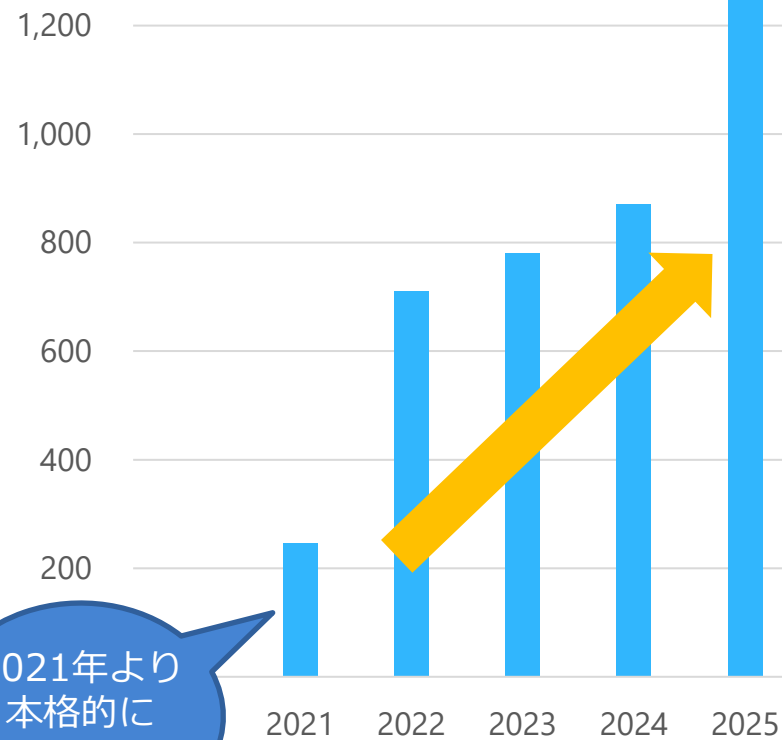
- インバータなどで使用されるパワー半導体を駆動させる製品です。IGBT、SiC-MOSFETにも対応。
- 大手パワー半導体メーカーの適応製品として、販売を開始しました。
- 足元では欧米の風力発電向けの需要が増加中です。



[CEATEC2021 展示資料より]

## ゲートドライバモジュール売上見通し

[百万円]



2021年より  
本格的に  
売上開始

# 車載新工場の進捗状況 2021年下期 グローバル生産体制構築完了

田村汽車電子(広東省佛山市)



初の中国「車載用昇圧リアクタ」生産専用工場  
 2021年1月 建屋完成  
 2021年度下期 EV用部品で量産稼働開始  
 【生産能力】200万台/年

若柳タムラ製作所 (宮城県栗原市)

2019年より稼働中(【生産能力】100万台/年)

坂戸工場 (埼玉県坂戸市)



従来生産ラインに加え、車載新工場を建設  
 2020年12月 建屋完成  
 2021年度下期 PHEV、HEV用部品で量産稼働開始  
 【生産能力】150万台/年

2022年度～

**550万台/年**

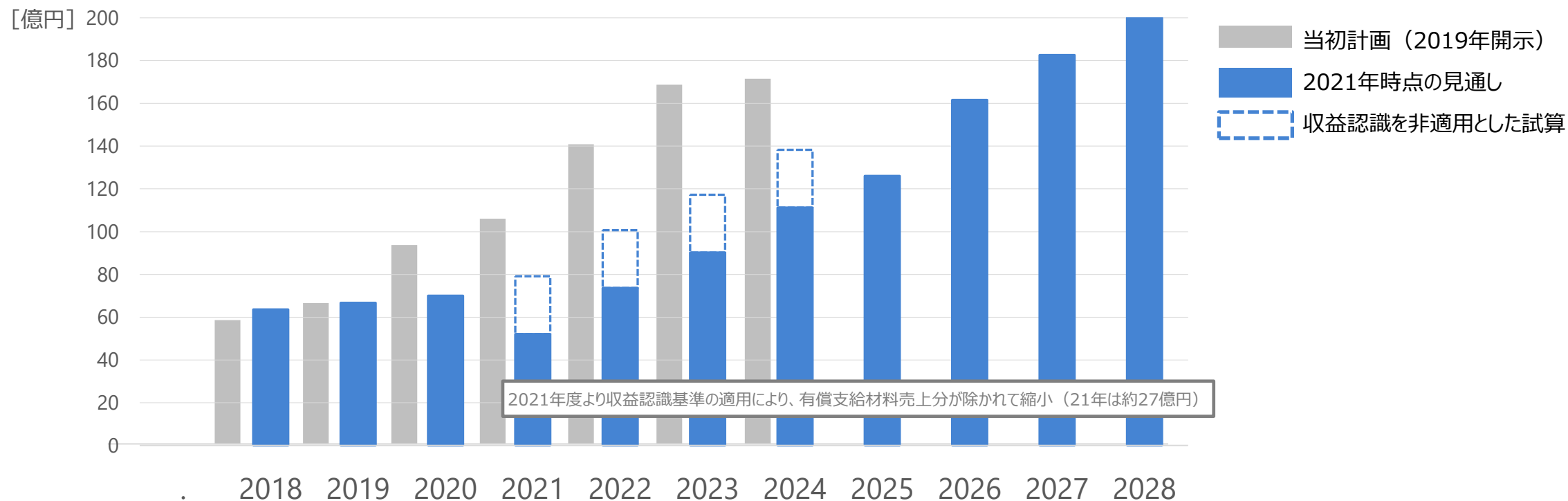
生産体制

～2021年度  
**250万台/年**  
 生産体制



# 車載用昇圧リアクタ売上見通し（2021年5月決算説明会資料再掲）

- ◆ コロナ影響と2021年度からの収益認識基準の適用で、当初計画より2年遅れ
- ◆ 2030年までに 売上 **200億円** 達成を目指します



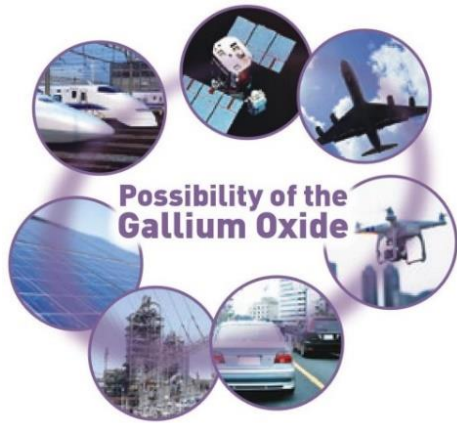
2019年  
若柳量産開始

2022年  
坂戸・田村汽車電子(佛山)  
量産本格化

適切なタイミングを見極め  
段階的に追加設備増強

# 酸化ガリウムパワー半導体

- ◆ カーボンニュートラルへの貢献で成長を目指すタムラの戦略ストーリーの中で、重要な位置にあるのが次世代パワー半導体です。既存のシリコン基板によるパワー半導体では性能限界を向かえるなか、**SiCやGaNを越える高性能と、コストメリットで期待**されているのが、タムラ製作所の研究開発部門をカーブアウトして設立された株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（以下ノベル社）による酸化ガリウムパワー半導体です。
- ◆ 現在タムラは、ノベル社と接合材料や電源部品で共同開発を進めており、酸化ガリウムパワー半導体市場の本格化の際には、共に大きく成長することを目指しています。



## [これまでの経緯]

- 2015年 6月 外部の資本を積極的に取り込み、独立した経営陣でスピーディーな開発と事業化推進を行うため、**タムラ製作所からのカーブアウトベンチャーとして株式会社ノベルクリスタルテクノロジーを設立**
- 2017年11月 世界初、酸化ガリウムエピ膜を用いたトレンチMOS型パワートランジスタの開発に成功
- 2020年 6月 ノベル社が新規投資家を引受先として総額7億円の資金調達を実施（タムラ出資比率は現在38%）
- 2021年 6月 **高品質β型酸化ガリウム100mmエピウエハの開発に成功**  
世界最高耐圧の酸化ガリウム縦型トランジスタの開発に成功

## 今後の展開

### TAMURA タムラ製作所

- 特許技術供与
- 技術支援・販売支援
- 周辺製品・材料のコラボレーション

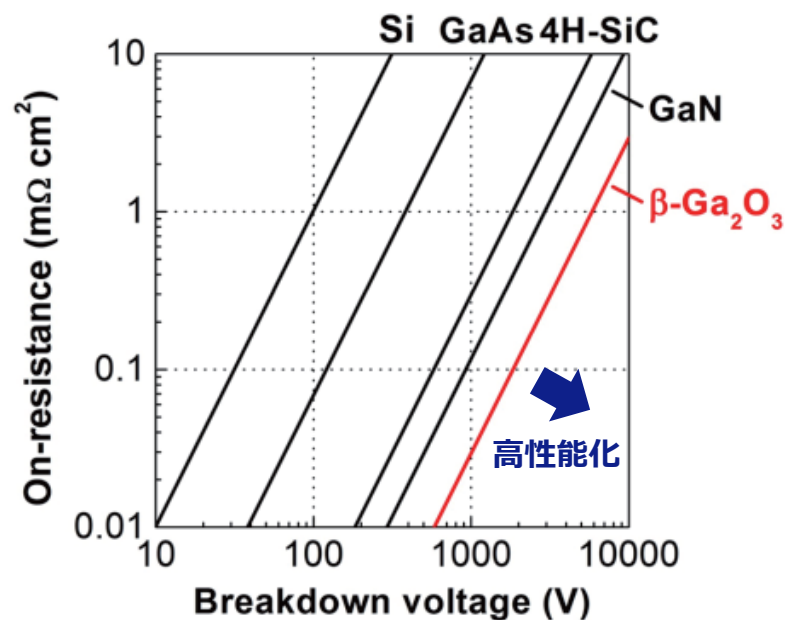


### ノベルクリスタルテクノロジー Novel Crystal Technology, Inc.

- 酸化ガリウムパワーデバイスの製品化
- 酸化ガリウムパワーデバイスの製造

# 酸化ガリウム ( $\beta\text{-Ga}_2\text{O}_3$ ) の特長

- ◆ ショットキーバリアダイオードやトランジスタに代表される半導体パワーデバイスは、家電・自動車・電車・産業用機器など、世界中のあらゆる電気機器に組み込まれ、電圧や電流の制御を行っている部品です。その制御を行う際、パワーデバイスの中で電力損失が発生します。この損失を小さくすることにより、**電気機器の消費電力の削減**が可能となり、CO<sub>2</sub>削減による地球温暖化対策に繋がります。
- ◆ 酸化ガリウムは、現在パワーデバイス用材料として開発が進められている炭化ケイ素(SiC)や窒化ガリウム(GaN)より大きな、4.5eVというバンドギャップエネルギーを有するため、**より低損失なパワーデバイス**を実現できる夢の新材料です。また、酸化ガリウムは融液成長法による結晶の製造が可能であり、高品質で大型の単結晶基板を**SiCやGaNの100倍高速に成長**することができるため**低コスト化**も期待できます。



理論オン抵抗と耐圧の関係

	SiC、GaN	$\beta\text{-Ga}_2\text{O}_3$
成長速度	遅い	早い
加工難易度	難しい	易しい
製造方法	<p>気相成長法</p>	<p>融液成長法</p>

$\beta\text{-Ga}_2\text{O}_3$ の価格低減の理由

# 高品質β型酸化ガリウム100mmエピウエハの開発に成功

(2021年6月16日 ノベルクリスタルテクノロジープレスリリースより抜粋)

株式会社ノベルクリスタルテクノロジーは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの助成（戦略的省エネルギー技術革新プログラム、実証開発「 $\beta$ -Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>ショットキーバリアダイオードの製品化開発」）を受け、高品質β型酸化ガリウム100mmエピウエハの開発に成功しました。

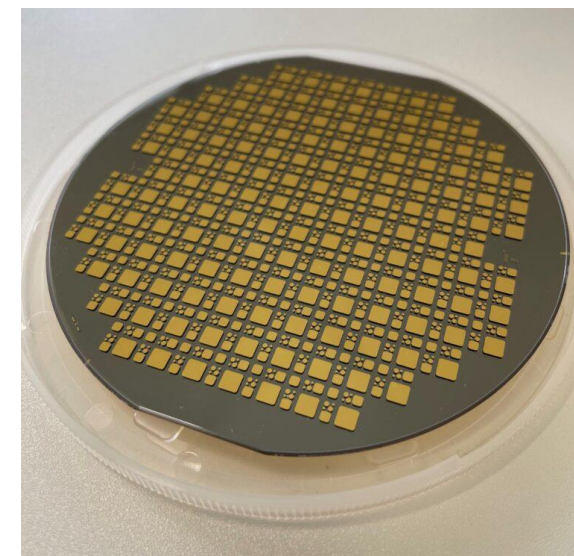
## ■ 内容

株式会社ノベルクリスタルテクノロジーは、2019年に高品質2インチ(50.8mm)酸化ガリウムエピウエハの開発に成功し（2019年4月18日プレスリリース）、2019年度初頭よりその製造販売を行って参りました。しかしながら、2インチではデバイスの製造コストが見合わないためにパワーデバイスの量産ラインが存在せず、本ウエハの用途は研究開発に限定されてきました。今回、2インチエピ高品質化技術を応用した100mm エピ成膜装置を開発し、高品質酸化ガリウム100mmエピウエハの製造・販売が可能になりました。これにより、100mm量産ラインでの酸化ガリウムパワーデバイスの製造が可能になります。

## ■ 今後の展開

2021年6月16日より、新開発した高品質酸化ガリウム 100mm エピウエハの販売を開始いたします。今後、ドナー濃度および膜厚の指定範囲の拡大および、更なるキラー欠陥の低減と大口径化に取り組んで参ります。

同社ではすでに、トレンチ構造を導入した低損失酸化ガリウム SBDの実証に成功しています（2017年9月12日プレスリリース）。今後100mmラインでのトレンチ型SBDの量産技術の構築を進めていきます。



# Oneタムラでカーボンニュートラルへの貢献と企業成長を目指します



市場ニーズ  
エネルギー  
大容量化

革新的  
エネルギー  
変換

支える  
タムラ技術

## 【付録】 参考資料



# 会社概要

資本金：11,829百万円  
 連結従業員数：4,447名  
 連結売上高：73,906百万円  
 東証一部上場  
 代表取締役社長：浅田昌弘

売上高：2021年3月期実績  
 従業員数：2021年3月末現在



# タムラの歩みと事業領域

1924年創業

「田村ラヂオ商会」



トランスを**極**める！

1924年～

ラジオ、蓄音機の製作・販売



接合技術を**極**める！

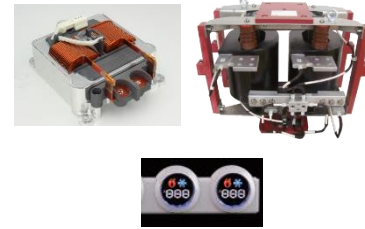
1930年～

トランスの自作化



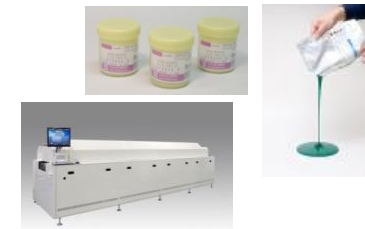
いい音（信号）を**極**める！

## 電子部品関連



- 1956年～ 磁性材料
- 1956年～ 電源装置
- 2008年～ LED関連製品
- 2009年～ 車載用リアクタ
- 2010年～ 大型トランス

## 電子化学実装関連



- 1956年～ フラックス
- 1957年～ リガ-ペースト
- 1961年～ レジストインク
- 1968年～ はんだ付装置
- 2010年～ FPC用レジスト

## 情報機器関連



- 1961年～ 放送用音声卓
- 1962年～ ワイヤレスマイク
- 1976年～ 伝送監視装置
- 2003年～ デジタル放送設備
- 2015年～ 8K向け音声卓



# あなたの街のタムラ

コーポレーションレポート2021より

<https://www.tamura-ss.co.jp/>



**航空・宇宙で**  
航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性で社会に貢献しています。



トランス・リアクタ

**灯台で**

超高輝度で、高い直進性が求められる灯台の光源を省エネルギー化、長寿命化し、メンテナンス性を向上します。



パワーLED

**駅で**

発着案内などの情報伝達手段として、音声・表示で鉄道運行を支えます。

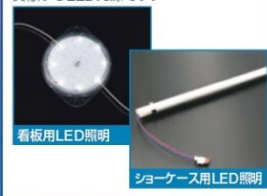


LED式電光掲示板

駅用ワイヤレスマイクホン

**コンビニや店舗で**

店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。



看板用LED照明

ショーケース用LED照明

**通信基地局で**

通信基地局用の基板に欠かせない材料として、デジタル通信システムを支えています。



ソルダーレジスト

ソルダーペースト

**放送局で**

視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内連絡用の無線システムです。



DECT規格インターカム

ポータブルミキサー

**街の自動販売機で**

表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。



商品選択ボタン

金額表示器

**エコカーで**

高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。



車載用リアクタ・コイル

糸はんだ・棒はんだ

ソルダーレジスト

ソルダーペースト

**風力・太陽光発電・インフラで**

再生可能エネルギーの発電や直流送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。



大型トランス・リアクタ



電流センサ

ゲートドライバモジュール

電源モジュール



導電性接合材

白色反射材

フラックス

**工場で**

ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に欠かせない装置が活躍しています。



電流センサ

ゲートドライバモジュール



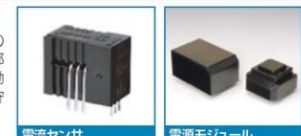
電源モジュール

トランス・リアクタ

はんだ付装置

**家庭で**

エアコンやパソコンの省エネに寄与する部品、居室内での活動状況や快適性を見守るセンサです。



電流センサ

電源モジュール



リアクタ

人感センサ

環境可視化センサ

**スマートフォンやタブレットPCで**

多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。



PAF  
フレキシブル基板向け  
ソルダーレジスト

低アルファ線  
ソルダーペースト

(0201サイズ部品を適合)  
Type 6ソルダーペースト

黒色吸収材

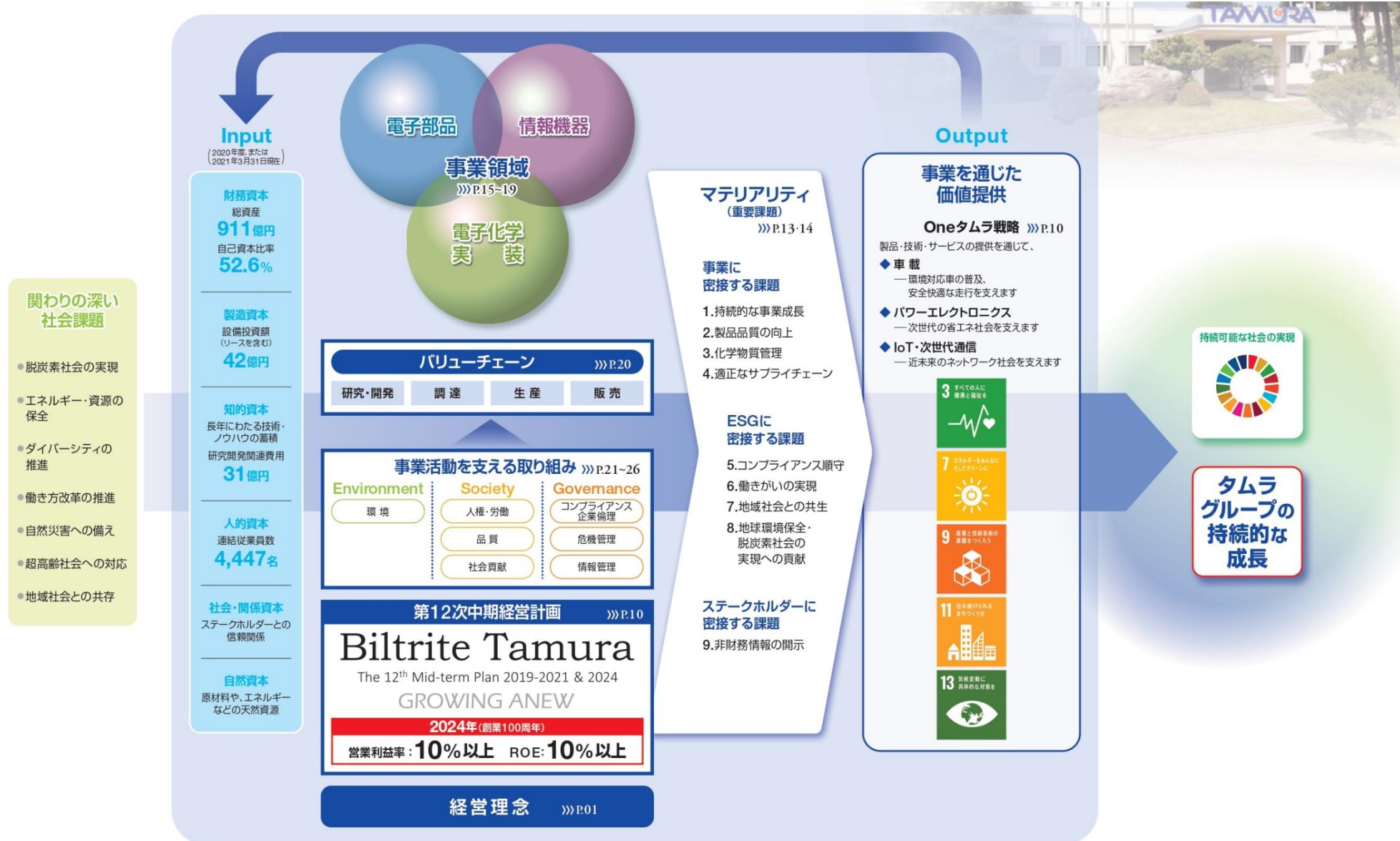
写真顕像型カーバレイ  
コート(フィルム・液状)

東北・山形・北陸新幹線  
MAXとキ242号 0:25 到着  
つばさ 45号 0:38 到着  
MAXとキ503号 0:46 到着  
MAXとキ575号 0:56 到着

# タムラグループの価値創造

コーポレーションレポート2021より

<https://www.tamura-ss.co.jp/>









Biltriteとはタムラ創業期の製品である電気蓄音機・アンプに使用され、特に高級品、高品位品に付けられた由緒ある商標です。現存するカタログとして最も古い昭和12年発行のカタログ第3号の冒頭に、次のようなコメントが記されています。

「当製作所の製品にはBiltriteの商標を付けてあります。是は製品に対して絶対的に責任を持つ意味であります。御買求めに際し、Biltriteの商標は品質に対する一種の保険証書として御承知置き下さい。」

# タムラグループのマテリアリティ

コーポレーションレポート2021より <https://www.tamura-ss.co.jp/>

区分	マテリアリティ	ありたい姿	アプローチ	貢献するSDGs
事業に密接する課題	1. 持続的な事業成長	持続的な成長と社会課題解決を両立し、世の中に存在価値が認められる企業	サステナブル貢献製品、新規製品、新規市場への継続的な拡販	 
	2. 製品品質の向上	お客様のニーズを理解し、要求事項を満足する期待に応える企業	品質方針に基づき行動し、世代を超えて継承する	 
	3. 化学物質管理	化学物質管理を推進し、安全・安心な製品・サービスを提供する企業	サプライチェーン全体での適正な化学物質管理	 
	4. 適正なサプライチェーン	サプライチェーン全体でCSR調達(環境、責任ある鉱物資源、児童労働、BCPなど)を推進する企業	サプライチェーン全体でのCSR調達の推進	
ESGに密接する課題	5. コンプライアンス順守	社会的責任を理解し、法令等のルールや社会規範及び企業倫理を順守し、社会から信頼される企業	コンプライアンス推進、危機管理体制の維持・強化	 
	6. 働きがいの実現	人が集まる企業・人が憧れる企業 従業員一人ひとりの人間性を尊重し、従業員が誇り・やりがい・働く喜びを持てる企業	多様性を尊重し、配慮すると共に、従業員を正しく評価する	 
	7. 地域社会との共生	地域社会の一員として地域の発展に貢献し、信頼される企業	地域住民の経済的営み、生活環境向上への貢献	 
	8. 地球環境保全・脱炭素社会の実現への貢献	カーボンニュートラルに挑戦 製品・サービス、事業活動の様々な場面で省エネ・脱炭素を推進する脱炭素社会実現に貢献する企業	サステナブル貢献製品や、再生可能エネルギーの導入等による自社活動のカーボンニュートラルの実現	
ステークホルダーに密接する課題	9. 非財務情報の開示	すべてのステークホルダーにとって必要とされる存在であり、世の中の期待に応えられる企業	ESGを意識した情報の適時開示 TCFD対応	

# 健康経営優良法人・スマートワーク

## 健康経営優良法人2021

- ◆ 2020年度は、働きやすい環境づくりとして、社内常設の健康相談窓口の創設や、在宅勤務制度の本格導入、構内各所で新型コロナウイルス感染防止策を実施しました。
- ◆ これらの活動が認められ、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定されました。
- ◆ 認定は2020年に引き続き2年連続です



## 「第5回日経スマートワーク経営調査」3星に認定（2021年11月）

- ◆ 働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する第5回日経スマートワーク経営調査において、3星に認定されました。
- ◆ 本調査は2017年から日本経済新聞社が実施しているもので、全国の上場企業と有力非上場企業を対象とし、多様で柔軟な働き方の実現、新規事業などを生み出す体制、市場を開拓する力の3要素によって組織のパフォーマンスを最大化させる取り組みを「スマートワーク経営」と定義し、星5段階で評価されます。



本資料の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。  
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所 経営管理本部  
TEL : 03-3978-2031